# HP AutoPass License Server

Windows®オペレーティングシステム向け ソフトウェアバージョン: 8.3.1



ドキュメントリリース日:2015年10月 (英語版) ソフトウェアリリース日:2015年10月



ご注意

#### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によっ てのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含 まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

## 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの 有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文 書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標 準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

## 著作権について

© Copyright 2013-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

## 商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

# ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ・ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

#### http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html

にアクセスして [New users - please register] をクリックしてください。

適切な製品サポートサービスを契約している場合は、更新版や新版を入手できます。詳細については、HPの営業担当者にお問い合わせください。

# サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

#### http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポート に関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。 お客様のビジネスを管理するのに 必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。 HPソフトウェアサポート のWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- •利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

ー部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインイン していただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new\_access\_levels.jsp

# PDF版オンラインヘルプの免責事項

本ドキュメントは、オンラインヘルプのPDF版です。このPDF版は、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。

**注**:トピックによっては、フォーマットの問題が原因でPDFに正しく変換されない場合があります。オンラ インヘルプのインタラクティブなトピックの一部は、このPDF版では提供されません。これらのトピックは、 オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

# 目次

ユーザーガイド	1
目次	6
第1章: HP AutoPass License Serverへようこそ	
第2章: インストールの前に	11
第3章:インストールとセットアップ	
AutoPass License Serverのインストール	
AutoPass License Serverのアンインストール	13
AutoPass License Serverのセットアップと開始	14
インストールとセットアップ - トラブルシューティングと制限事項	15
第4章: AutoPass License Serverの概要	
第5章: AutoPass License Serverの設定	
概念	
AutoPass License Serverの設定 - 概要	20
リファレンス	21
[Main] 設 定 タブ ([Configuration] ペイン)	21
AutoPass License Serverの設定 - よくある質問	
第6章: AutoPass License Serverの冗長性の設定	
概念	
AutoPass License Serverの冗長性 - 概要	29
AutoPass License Serverの冗長性 - 考慮事項と制限事項	
タスク	
AutoPass License Serverの冗長性の設定方法	
リファレンス	
[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン)	33
AutoPass License Serverの冗長性 - よくある質問	
AutoPass License Serverの冗長性 - トラブルシューティングと制限事項	

第7章: AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管	理37
概念	
AutoPass License Serverユーザー-概要	
AutoPass License Serverユーザーグループ - 概要	
ユーザーグループの権限レベル	
AutoPass License Serverユーザーグループ権限 一覧	
ユーザーおよびユーザーグループのソース	40
タスク	42
AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理方法	42
リファレンス	46
[Users] タブ ([User Management] ペイン)	46
[User Groups] タブ ([User Management] ペイン)	48
[User Management] 設 定 タブ ([Configuration] ペイン)	
[LDAP] タブ ([Configuration] ペイン)	53
AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理 - よくある質問	57
AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理 - トラブルシュー 制限事項	ティングと 59
第8章:ライセンス管理	
概念	61
ライセンスのインストール	61
ライセンス使用状況レポート	61
ライセンスチェックインおよび履歴の検索	62
ライセンスのアーカイブと復元	
ライセンスの借用	63
ライセンスのクリーンアップ	64
タスク	65
ライセンスの管理方法	65
リファレンス	69
[License Usage] ペイン	
[Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)	70
[Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)	72
[Search Results] ページ ([License Usage] ペイン)	73

[Install License] タブ ([License Management] ペイン)	75
[License Management] タブ ([License Management] ペイン)	76
[Archive License] タブ ([License Management] ペイン)	77
[Borrow License] タブ ([License Management] ペイン)	
[Borrow License Request] ウィンドウ ([Borrow License] タブ)	80
[License Clean Up] タブ ([License Management] ペイン)	81
ライセンス管 理 - よくある質 問	
ライセンス管理 -トラブルシューティングと制限事項	86
第9章:クライアントユーザーの管理	
概念	
Autopass License Serverのクライアントユーザー - 概要	
クライアントユーザー属性	
AutoPass License Serverのクライアントユーザープール	
ユーザープールごとのライセンス使用	
ライセンス予約の優先度	92
機能 ベースと製品 ベースの予約	
ユーザープールの制限またはブロック	
タスク	
クライアントユーザーアクセスの管理方法	
リファレンス	
[Pool Management] タブ	
プールのユーザーリスト セクション ([Pool Management] タブ)	101
[Pool to Product Mapping] リスト ([Pool Management] タブ)	
[Featured-Based Reservation]/[Product-Based Reservation] タブ	
クライアントユーザーの管理 - よくある質問	
クライアントユーザーの管理 -トラブルシューティングと制限事項	109
第10章: リモートコミューターライセンスの管理	
概念	111
コミューターライセンス-概要	111
コミューターライセンスのチェックインとチェックアウト	111
コミューターライセンスの回復	

タスク	113
リモートコミューターライセンス操作の実行方法	113
リファレンス	115
[Check In]/[Check Out] タブ ([Remote Commuter] ペイン)	
リモートコミューターライセンスの管理 - よくある質問	
リモートコミューターライセンスの管理 -トラブルシューティングと制限事項	

# 第1章: HP AutoPass License Serverへよう こそ

HP AutoPass License Serverへようこそ。本製品は、HPソフトウェア製品のライセンスを管理するための、HPのWebベースソリューションです。AutoPass License Serverを使用することで、製品ライセンス、サーバーユーザー、クライアントユーザーを整理して管理することができます。

本ガイドでは、HP AutoPass License Serverのインストール、セットアップ、使用方法を説明します。

本ガイドの対象は、AutoPass License Serverのインストールと管理を担当するユーザーです。ユーザーには、システム管理に関する基礎的な知識が必要です。

# 第2章: インストールの前に

『HP AutoPass License Serverユーザーガイド』には、HP AutoPass License Serverをインストールして使用するために必要な情報が記載されています。

HP AutoPass License Serverを正常にインストールして実行するには、コンピューターが次に示す最 小システム要件を満たす必要があります。ただし、最小要件よりも強力または新しいバージョンのセッ トアップを使用することで、パフォーマンスが向上する可能性があります。

サポートされるすべてのオペレーティングシステムの一覧については、DVDのルートフォルダーにある『HP AutoPass License Server Product Availability Matrix』を参照してください。最新の『Product Availability Matrix』は、HPソフトウェア製品マニュアルサイト (http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals)にあります (HP Passportが必要です)。

(http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzのタより (http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzのタより (http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzのタより (http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzのタより (http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzのタより (http://hzozoo.wwwz.hp.com/sensolve/manuals/hzozoo.www.co

CPU	1.6 GHz以上	
オペレーティングシ ステム	Windows XP Service Pack 3	
メモリ	1 GB以上のRAM	
カ <del>ラー</del> 設定	ハイカラー (16ビット)	
グラフィックスカー ド	64 MBのビデオメモリを搭載したグラフィックスカード	
プロトコル	AutoPass License Serverを使用する製品およびユーザーに対してHTTPSを 有効にする必要があります。	
ポート	AutoPass License Serverに接続するには、製品およびクライアントユーザーからポート5814がアクセス可能である必要があります。	
	<b>注</b> : ポート5814は、Internet Assigned Number Authority (IANA) に登録 済みのHP製品用のポート番号です。	
Webブラウザー	・ Mozilla Firefox 36.0.4以上	
	• Internet Explorer 10.00以上	
	• Google Chrome 44以上	

# 第3章:インストールとセットアップ

AutoPass License Serverの使用を始める前に、AutoPass License Serverをインストールしてセット アップする必要があります。

インストールの前に、AutoPass License Serverホストコンピューターが最小システム要件を満たすことを確認してください。詳細については、「インストールの前に」(11ページ)を参照してください。

この章には、次の項目があります。

- 「AutoPass License Serverのインストール」(12ページ)
- 「AutoPass License Serverのアンインストール」(13ページ)
- 「AutoPass License Serverのセットアップと開始」(14ページ)
- 「インストールとセットアップ-トラブルシューティングと制限事項」(15ページ)

#### AutoPass License Serverのインストール

AutoPass License Serverをインストールする際には、標準インストールまたはサイレントインストールを 選択できます。

**注**: AutoPass License Serverをインストールするコンピューターに対する管理者権限が必要です。

#### 標準インストール

標準インストールを使用するには、setup.exeインストーラーファイルをダブルクリックして、ウィザードの指示に従います。

インストール中 にヘルプを参照するには、関連するウィンドウで [Help] ボタンをクリックすると、プロセス 中の該当するステップの説明が表示されます。

#### サイレントインストール

サイレントインストールを実行する場合、デフォルト値を使用する方法と、応答値を使用して初期化 プロパティを指定する方法があります。

#### デフォルト値によるサイレントインストール

インストールおよびデータフォルダーに対するデフォルト値を使用してサイレントインストールを行うに は、次の手順を実行します。

- 1. コマンドプロンプトウィンドウで、インストーラーファイルが保存されているディレクトリに移動します。
- 2. "setup.exe" -i silent"コマンドを入力し、Enterキーを押します。

デフォルトのインストーラー値を使用してサイレントインストールが実行されます。

#### 初期化プロパティを含む応答ファイルを使用したサイレントインストール

サイレントインストールに使用するデフォルト値を変更するには、installer.propertiesファイル を使用します。これは、インストールに使用されるデフォルトの応答ファイル名です。このファイルには、 installおよびdataフォルダーのディレクトリが記録されている必要があります。

応答ファイルを使用してサイレントインストールを行うには、次の手順を実行します。

- 1. インストーラーファイルが保存されているディレクトリに、installer.propertiesという名前の ファイルを作成します。
- 2. installer.propertiesファイルに次のように入力します。

#
INSTALLER_UI=SILENT
# Choose Installer Folder
#
USER_INSTALL_DIR=C:\\apls\\instal
# Choose Data Folder
#
USER_DATA_DIR=C:\\apls\\data

- 3. コマンドプロンプトウィンドウで、インストーラーが保存されているディレクトリパスに移動します。
- 4. "setup.exe" -i silent"コマンドを入力し、Enterキーを押します。

**注**: サイレントインストールに別の応答ファイルを使用するには、上記ステップ4のコマンドの 代わりに次のコマンドを使用します。

"setup.exe -i silent -f <応答ファイル名>"

このファイルにも、installおよびdataフォルダーのディレクトリが記録されている必要があります。

#### AutoPass License Serverのアンインストール

AutoPass License Serverをアンインストールする際には、標準アンインストールまたはサイレントアンインストールを選択できます。

#### 標準アンインストール

コントロールパネルで、[プログラムのアンインストール]オプションを選択し、アンインストールウィザードの指示に従います。

## サイレントアンインストール

サイレントアンインストールを行うには、次の手順を実行します。

1. コマンドプロンプトで、次の例のように、インストールディレクトリの下のHP AutoPass License Serverフォルダーのディレクトリパスを入力します。

"<**1>Autopass License Server**>"

2. コマンド "Change HP Autopass License Server.exe"を入力し、Enterキーを押します。

AutoPass License Serverがアンインストールされます。

## AutoPass License Serverのセットアップと開始

インストール後に、AutoPass License ServerはWindowsサービスとして自動的に開始されます。 AutoPass License Serverのライセンスは、インストール時に設定されます。その後に特別なセットアッ プは不要です。

AutoPass License Serverを起動するには、サーバーのWebアドレスをブラウザーに入力します。 https://<IP**アドレスまたはホスト名**>:5814/autopass

AutoPass License Serverに最初にログインする際には、次の資格情報を使用します。

- ユーザー名: admin
- パスワード: password

最初のログインの後、パスワードを変更するように求められます。最初のログイン後に、他の AutoPass License Serverユーザーを作成し、ログイン資格情報とアクセス許可を設定することができ ます。詳細については、「AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理」(37ペー ジ)を参照してください。

最初のログイン後には、メールサーバーの設定も求められます。さらに、次に示すAutoPass License Serverの他の全般設定も指定できます。

- サーバー設定
- ライセンスチェックアウト履歴のパージ設定
- 監査レポート設定
- 有効期限通知設定
- ライセンス借用設定
- サーバー冗長性設定

詳細については、「AutoPass License Serverの設定」(19ページ)および「AutoPass License Serverの 冗長性の設定」(28ページ)を参照してください。

## インストールとセットアップ - トラブルシューティングと 制限事項

AutoPass License Serverのインストールが失敗した場合はどうすればいいですか。

自動インストールが失敗した場合、手動でAutoPass License Serverをインストールする必要があります。



手動でAutoPass License Serverをインストールするには、次の手順を実行します。

1. コマンドプロンプトで、次の例のように、<Autopass License Serverインストール>/binフォ ルダーのディレクトリパスを入力します。

<**インストールディレクトリ**>/HP Autopass License Server/HP Autopass License Server/bin>

 binディレクトリパスの後に、コマンドhpLicServer.bat installを入力して、Enterキーを 押します。

AutoPass License Serverがコンピューターにインストールされます。

# AutoPass License Serverのアンインストールが失敗した場合はどうすればいいですか。

自動アンインストールが失敗した場合、手動でAutoPass License Serverをアンインストールする必要があります。



手動でAutoPass License Serverをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. コマンドプロンプトで、次の例のように、<Autopass License Serverインストール>/binフォ ルダーのディレクトリパスを入力します。

<**インストールディレクトリ**>\HP Autopass License Server\HP Autopass License Server\bin>

 binディレクトリパスの後に、コマンドhpLicService.bat removeを入力して、Enterキーを 押します。

AutoPass License Serverがコンピューターからアンインストールされます。

#### AutoPass License Serverの開始が失敗した場合はどうすればいいですか。

インストール後のAutoPass License Serverの自動開始が失敗した場合、手動でAutoPass License Serverを開始する必要があります。



手動でAutoPass License Serverを開始するには、次の手順を実行します。

1. コマンドプロンプトウィンドウに、services.mscと入力します。Windowsサービスダイアログボックスが開きます。

2. [サービス (ローカル)] リストで、[HP Autopass License Server] を右 クリックして、[開始] を選択 します。

AutoPass License Serverサービスが開始され、WebブラウザーからAutoPass License Serverにアクセスできるようになります。

# 第4章: AutoPass License Serverの概要

AutoPass License Serverは、HPソフトウェア製品のコンカレントライセンスを管理するために使用します。

ソフトウェア製品のライセンスは、大きく2種類に分類されます。コンカレント (フローティング) ライセンス とシート (スタンドアロン) ライセンスです。コンカレントライセンスは、複数のクライアントユーザーの間で 動的に共有されます。これに対して、シートライセンスは特定のクライアントマシンに固定されていま す。コンカレントライセンスは、ユーザーのグループ内で共有 (プール)されます。コンカレントライセンスを 使用すると、製品のユーザーの総数ではなく、同時に製品を使用する可能性があるユーザーの最大 数に等しい数のライセンスを購入するだけですみます。

AutoPass License Serverは、HPライセンスポータルから購入されたライセンスを管理します。ライセンスはAutoPass License Serverにインストールされます。

クライアントコンピューターでライセンスが必要になると、クライアントはAutoPass License Serverに要求を送り、そのユーザーにライセンスがチェックアウトされます。 クライアントユーザーの作業 セッションが終了すると(またはライセンスの有効期限が切れると)、ライセンスはAutoPass License Serverに返却され、他のユーザーから使用可能になります。 クライアントユーザーがAutoPass License Serverに常時接続できない場合、 クライアントユーザーはAutoPass License Serverからコミューターライセンスをチェックアウトすることができます。

AutoPass License Serverを使用すると、次のことを実行できます。

- ライセンスの使用方法の制御と管理
- AutoPass License Serverおよびサーバーにインストールされたライセンスの管理を担当するユー ザーの作成と管理
- クライアントユーザーからAutoPass License Serverへのアクセスの管理

# 第5章: AutoPass License Serverの設定

本章の内容

#### 概念

•「AutoPass License Serverの設定 - 概要」(20ページ)

#### リファレンス

• 「[Main] 設 定 タブ ([Configuration] ペイン)」(21ページ)

「AutoPass License Serverの設定 - よくある質問」(25ページ)

## 概念

#### AutoPass License Serverの設定 - 概要

AutoPass License Serverをインストールした後、AutoPass License Serverの設定オプションを指定す る必要があります。

**注**: 管理者は、最初にAutoPass License Serverにログインした後で、メール設定を行う必要があります。

次のオプションを設定します。

- サーバーメール設定
- チェックイン履歴のパージ
- サーバー監査レポート
- AutoPass License Serverの借用
- 有効期限の通知
- サーバーIP設定
- サーバー検出

個 々 のオプションの詳 細 については、「[Main] 設 定 タブ ([Configuration] ペイン)」(21ページ)を参 照し てください。

**注**: 最初にAutoPass License Serverにログインする際には、サーバーのメール設定を行う必要があります。

## リファレンス

# [Main] 設定タブ ([Configuration] ペイン)

[Main] 設定タブでは、AutoPass License Serverの全般的な設定を行うことができます。

Main User Management	Redundancy LDAP				
					?
Mail Configuration			Audit Configuration		
Mail Server *	smtp.hp.com		No Audit	ORequest	
Port	25		OResponse	ORequest and Response	
Admin Email *	myadmin@hp.com		Dennin Setting		
User Name			Allow		
Password					
Test Mail		Send Email	License Pre-Expiry Notification		
			Advance Settings		
Concurrent License Purge Set	ttings				
Auto Purge			Concurrent License Setting		
Select Purge Type			Use client settings for checking	/checkout	
OPurge Records Older Than		0 Days			
Maximum Records to Retain	1	200000	Server Configurations		
			Protocol Type	OHTTP OHTTPS	
			ir/nosi	11.222.33.44 select	
			Port	5814	
			Discourse		
			Enable Discovery		
			Excluded Clients	Add	
Save Cancel					

アクセス方法	[Configuration] ペイン > [Main] タブ
重要な情報	AutoPass License Serverに最初にログインしたときに、メール設定を行 う必要があります。

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Mail	Autopass License Serverから送信されるメールの設定を行うことができます。
Configuration	次の詳細を入力します。
	<ul> <li>Mail Server: AutoPass License Serverからのメールメッセージの送信元 サーバーの名前 (必須フィールド)。</li> </ul>
	• Port: AutoPass License Serverからのメールメッセージの送信元ポート番号。
	• Admin Email: サーバー関連の情報を送信するサーバー管理者の電子 メールアドレス(必須フィールド)。
	<ul> <li>User Name: サーバー管理者のユーザー名。このユーザー名は、「[Users] タブ ([User Management] ペイン)」(46ページ)で作成されたユーザー名に追加されます。</li> <li>デフォルト: admin</li> </ul>
	• Password: サーバー管理者のユーザーパスワード。
	• Test Mail: メール設定のテストのために使用する電子メールアドレス。テストするメールアドレスを入力して、[Send Mail]をクリックします。
Concurrent	サーバー操作履歴の削除頻度を設定できます。
License Purge Settings	• Auto Purge: 指定した設定に基づいてサーバー操作履歴を自動的にクリアします。
•	<b>注:</b> レコードの自動パージを停止するには、チェックボックスをオフにします。
	<ul> <li>Purge Records Older Than &lt;&gt; Days: 入力した日数よりも古いレコード をすべてパージします。</li> </ul>
	<ul> <li>Maximum Records to Retain: AutoPass License Serverデータベースに 保持するサーバー操作の数。最新の操作から順に、指定した数の操作が 保持されます。</li> </ul>
	注: [Search Results] ウィンドウでも、サーバー操作履歴をパージすることができます。詳細については、「[Search Results] ページ ([License Usage] ペイン)」(73ページ)を参照してください。

UI要素	説明
Audit Configuration	チェックアウトおよびチェックインの要求と応答に関するAutoPass License Serverログに記録される内容を設定できます。
	次のいずれかのレベルを選択できます。
	• No Audit: チェックアウトまたはチェックイン要求は記録されません(デフォルト)。
	• Request: すべてのチェックアウトおよびチェックイン要求の記録。
	<ul> <li>Response: ライセンスのチェックアウトおよびチェックイン要求に対する AutoPass License Serverのすべての応答の記録。</li> </ul>
	• Request and Response: すべてのライセンスチェックアウトおよびチェックイン 要求とAutoPass License Serverの応答の記録。
	注: [Request and Response] オプションを選択することを推奨します。
Borrow Setting	他のAutoPass License Serverによるライセンスの借用が可能になるように AutoPass License Serverを設定します。
	ライセンスを借用できないようにするには、このオプションをオフにします。
	ライセンスの借用の詳細については、「ライセンスの借用」(63ページ)を参照し てください。
License Pre- Expiry製品ライセンスの有効期限が近づいたときに、AutoPass License S 者に事前の通知を送信します。	
Notification	このオプションを選択した場合、有効期限の何日前に通知を送信するかを指 定する必要があります。
Concurrent License Setting	[Server Configurations] に設定された値を使用する代わりに、クライアント要求からサーバー詳細を直接取得するために使用します。
	この設定を有効にした場合、プロトコルタイプ、IPアドレスまたはホスト名、エン トリポートが、クライアントの要求URLから判定されます。 無効にした場合は、 [Server Configurations] の値が使用されます。
	<b>デフォルト値</b> :有効

UI要素	説明
Server Configurations	AutoPass License Server のサーバー詳細を設定できます。 次の詳細を入力します。 • Protocol Type: Autopass License Serverにアクセスするための接続プロト コル。[HTTP] または [HTTPS] を選択できます。 デフォルト: HTTPS
	<b>注</b> : APLSIには、SSL通信用のRSA 2048 HP標準証明書が付属しています。証明書はサーバー設定で変更できますが、既知のセキュリティの問題を回避するため、RSA 2048とSHA 256の組み合わせなどの証明書を使用することを推奨します。
	<ul> <li>IP/Host: AutoPass License ServerのIPアドレスまたはホスト名。[Search] をクリックすることで、サブネット内で使用可能なIPアドレスまたはホスト名を 検索することができます。</li> </ul>
	注: IPv6アドレスは、角括弧[]で囲む必要があります。
	• Port: サーバーのエントリポート。
	注: [Concurrent License Setting] > [Use client settings for checkin/checkout] をオンにした場合、サーバー設定はリモートコミュー ターのチェックインとチェックアウトの際にのみ適用されます。詳細について は、「コミューターライセンスのチェックインとチェックアウト」(111ページ)を参 照してください。
Enable Discovery	他のAutoPass License Serverおよびクライアントが、ライセンスの借用または チェックアウトのためにサブネットを検索する際に、このAutoPass License Serverを検出できるようにします。
	次のオプションを設定できます。
	<ul> <li>Enable Discover: 他のAutoPass License Serverおよびクライアントが、サ ブネットを検索する際に、このAutoPass License Serverを検出できるように します。</li> </ul>
	<ul> <li>Excluded Clients: このAutoPass License Serverを検出できないようにするすべてのAutoPass License Serverおよびクライアントコンピューターのリスト。クライアントまたはAutoPass License ServerのIPアドレスを入力して [Add] をクリックし、このAutoPass License Serverの検出をブロックします。</li> </ul>

## AutoPass License Serverの設定 - よくある質問

# AutoPass License Serverにログインしたときにメール設定ページが開くのはなぜですか。

メール設定は、AutoPass License Serverに最初にログインしたときに必要となります。

#### AutoPass License Serverの監査ログファイルはどこに保存されますか。

ログファイルの場所は、<データディレクトリ>\Autopass\LicenseServer\data\log>です。

# HP AutoPass License Serverの.logファイルの場所を変更するにはどうすればよいですか。

.log**ファイルの場所を変更するには、**log4j.properties**ファイルを変更します。このファイルは、**< データディレクトリ>\Autopass\LicenseServer\ data\conf>**にあります。** 

.log**ファイルの場所を変更するには、**.log4j.propertiesファイルの内容を次のようにします。

log4j.logger.com.hp.autopassj=INFO,APJ log4j.appender.APJ=org.apache.log4j.RollingFileAppender log4j.appender.APJ.File=<log file path>\\autopassls.log log4j.appender.APJ.MaxFileSize=10MB log4j.appender.APJ.MaxBackupIndex=10 log4j.appender.APJ.Append=True log4j.appender.APJ.layout=org.apache.log4j.PatternLayout log4j.appender.APJ.layout.ConversionPattern=%-5p- %d{MMM dd HH:mm:ss} - %m%n

注:変更を有効にするには、AutoPass License Serverを再起動する必要があります。

#### AutoPass License Serverの.logファイルのサイズを変更するにはどうすればよいで すか。

.log**ファイルのサイズを変更するには、**log4j.propertiesファイルを変更します。このファイルは、 <データディレクトリ>\Autopass\LicenseServer\ data\conf>**にあります**。

.logファイルの場所を変更するには、.log4j.propertiesファイルの内容を次のようにします。

```
log4j.logger.com.hp.autopassj=INFO,APJ
log4j.appender.APJ=org.apache.log4j.RollingFileAppender
log4j.appender.APJ.File=<Provide the log file path
here>\\autopassls.log
log4j.appender.APJ.MaxFileSize=<log file size>
log4j.appender.APJ.MaxBackupIndex=10
log4j.appender.APJ.Append=true
log4j.appender.APJ.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
log4j.appender.APJ.layout.ConversionPattern=%-5p - %d{MMM dd
HH:mm:ss} - %m%n
```

注:変更を有効にするには、AutoPass License Serverを再起動する必要があります。

### 別のAutoPass License Serverでライセンスを借用した後で、借用オプションを無効にした場合、借用したAutoPass License Serverからライセンスを返却すること はできますか。

はい。

#### 他のAutoPass License ServerまたはクライアントマシンからこのAutoPass License Serverを検出できないようにするにはどうすればよいですか。

[Main] タブ ([Configuration] ペイン) で、AutoPass License ServerまたはクライアントのIPアドレスを入 カして、[Add] をクリックします。 クライアントユーザーまたはAutoPass License Serverが除外 クライアントのリストに追加され、AutoPass License Serverを検出できなくなります。

#### Javaのヒープメモリサイズを増やすにはどうすればよいですか。

Javaのヒープメモリを増やすには、hpLicSvrw.exeファイルを変更します。このファイルは、<インストールディレクトリ>\HP \bin>にあります。

メモリを変更するには、次の手順を実行します。

- 1. hpLicSvrw.exe**ファイルをダブルクリックします**。
- 2. [Java] タブを選択します。
- 3. [Maximum memory pool] フィールドで、必要なメモリ容量を入力します。

hP AutoPass License Se	erver Properties		×
General Log On Logging	Java Startup	Shutdown	
Use default			
Java Virtual Machine:			
C:\Program Files\HP\HP	AutoPass License S	Server \jre \bin \server \j	vi
Java Classpath:			
C:\Program Files\HP\HP	AutoPass License S	Server\HP AutoPass Lie	cense Se
Java Options:			
-Dcatalina.base=C:\Pro -Dcatalina.home=C:\Pro -Djava.endoro.drains=C -Djava.io.tmpdir=C:\Pro	gram Files\HP\HP A ogram Files\HP\HP / : Program Files\HP\HP / ogram Files\HP\HP /	utoPass License Serve AutoPass License Serve V.P. AutoPass License AutoPass Lice. se Serve	er \HF A er \H Ser \ er \H
Initial memory pool:	128	МВ	
Maximum memory pool:	1536	МВ	
Thread stack size:		0	
	ОК	Cancel	Apply

注:使用可能な最大メモリ容量は1408 MBです。

4. AutoPass License Server を再起動します。

# 第6章: AutoPass License Serverの冗長性の設定

本章の内容

#### 概念

- •「AutoPass License Serverの冗長性-概要」(29ページ)
- •「AutoPass License Serverの冗長性 考慮事項と制限事項」(29ページ)

#### タスク

•「AutoPass License Serverの冗長性の設定方法」(31ページ)

#### リファレンス

• 「[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン)」(33ページ)

「AutoPass License Serverの冗長性 - よくある質問」(35ページ)

「AutoPass License Serverの冗長性 - トラブルシューティングと制限事項」(36ページ)

## 概念

#### AutoPass License Serverの冗長性 - 概要

AutoPass License Serverをインストールして設定した後で、AutoPass License Serverに対してサー バーの冗長性を設定することができます。 サーバーの冗長性<sup>1</sup>とは、 プライマリサーバーのバックアップ用 としてセカンダリサーバーを用意しておくことです。 このセカンダリサーバーは、 プライマリサーバーが利用 できなくなった場合のみ動作します。

デフォルトでは、インストール直後にはすべてのAutoPass License Serverがスタンドアロンのサーバーと見なされます。ただし、各AutoPass License Serverは、冗長サーバーの役割を果たす追加の1つの AutoPass License Serverをサポートします。

プライマリとセカンダリの両方のAutoPass License Serverが動作している場合、両方のAutoPass License Serverのデータは自動的に同期されます。

AutoPass License Serverのペアに対して冗長性を設定した場合、プライマリAutoPass License ServerがすべてのAutoPass License Server機能の動作を制御し、すべての設定と情報を定義しま す。たとえば、セカンダリサーバーで設定を変更した場合でも、プライマリサーバーの設定が用いられま す。WebブラウザーからセカンダリAutoPass License Serverにアクセスしようとすると、プライマリ AutoPass License Serverにリダイレクトされます。

プライマリAutoPass License Serverのライセンスが期限切れになった場合、サーバーの冗長性はアク ティブにならず、セカンダリAutoPass License ServerがプライマリAutoPass License Serverの代わりに 機能することはありません。この場合、クライアントユーザーはライセンスをチェックアウトすることはでき ず、チェックアウトされたライセンスを更新することはできません。同様に、プライマリAutoPass License Serverが動作しておらず、セカンダリAutoPass License Serverのライセンスが期限切れになっている 場合、ライセンスのチェックアウトまたは更新を行うことはできません。

**注**: 期限切れのAutoPass License Serverに対してクライアントユーザーがライセンスをチェックイン することは、冗長性のステータスや可用性にかかわらず可能です。

#### AutoPass License Serverの冗長性 - 考慮事項と制限 事項

冗長性を設定する際には、次のことに注意してください。

- プライマリとセカンダリのAutoPass License Serverのサーバーバージョンは一致する必要があります。
- セカンダリAutoPass License Serverの設定は、プライマリAutoPass License Serverの設定よりも前に行う必要があります。タスクの詳細については、「AutoPass License Serverの冗長性の設定方法」(31ページ)を参照してください。
- プライマリAutoPass License Serverに対するセカンダリAutoPass License Serverは、1つしか存在 できません。

<sup>1</sup>プライマリサーバーに障害が発生するか利用不可になった場合のために、バックアップサーバーを用意しておく構成。

- 1つのセカンダリAutoPass License Serverを、複数のプライマリAutoPass License Serverで共有す ることはできません。
- プライマリAutoPass License Serverとして動作するAutoPass License Serverは、セカンダリ AutoPass License Serverのライセンスを持つ必要があります。
- スタンドアロンAutoPass License ServerをプライマリAutoPass License Serverとして設定した場合、サーバーがプライマリAutoPass License Serverになったときに、スタンドアロンサーバーにインストールされたライセンスだけが保持されます。他の設定はすべて更新する必要があります。

# タスク

#### AutoPass License Serverの冗長性の設定方法

このタスクでは、AutoPass License Serverのサーバーの冗長性を設定する方法を説明します。

- セカンダリAutoPass License Serverの [Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン) で、[Enable Redundancy] オプションのチェックボックスと、[Act as Secondary] オプションのチェックボックスをオ ンにします。
- 2. 現在のAutoPass License Serverの [Local IP] 編集ボックスに、ローカルIPアドレスを入力しま す。利用可能なIPアドレスをサブネット上で検索するには、[Select] をクリックして、利用可能な すべてのIPアドレスをリストし、検索ボックスからアドレスを選択します。
- 3. プライマリAutoPass License Serverで、プライマリおよびセカンダリAutoPass License Server用の ライセンスをインストールします。

**注:** プライマリおよびセカンダリサーバー用のライセンスは、プライマリAutoPass License ServerのプライマリIPアドレスにロックされている必要があります。

- 4. プライマリAutoPass License Serverの [Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン) で、[**Enable Redundancy**] オプションのチェックボックスをオンにします。
- 5. [Protocol Type]を選択します。
- セカンダリAutoPass License Serverに対して、[Local IP]、[Redundant IP]、[Redundant Port]、[Protocol Port]を入力します。これらのオプションの詳細については、「[Redundancy]タブ([Configuration] ペイン)」(33ページ)を参照してください。
- 7. [Save] をクリックします。

冗長性が設定されると、下の例のように、[License Usage] ペインにサーバーのステータスが表示されます。



サーバーが動作している場合は、上向きの緑の矢印が表示されます。サーバーが動作していない場合は、下向きの赤の矢印が表示されます。プライマリとセカンダリの両方のAutoPass License Server に上向きの緑の矢印が表示されている場合は、プライマリAutoPass License Serverがサーバー動作 を処理しています。

注: プライマリAutoPass License Serverに対して定義されているセカンダリAutoPass License Serverを変更するには、まずプライマリAutoPass License Serverで [Enable Redundancy] オプ ションをオフにして、スタンドアロンAutoPass License Serverに設定する必要があります。この設 定変更を保存した後で、別のセカンダリAutoPass License Serverを使用して、新しいスタンドア ロンAutoPass License ServerをプライマリAutoPass License Serverに設定します。

## リファレンス

## [Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン)

このタブでは、AutoPass License Serverの冗長性を設定できます。

Main	User Management	Redundancy Configuration	LDAP	
				?
Redundancy Configuration				
Enable Redundancy				
Act as S	econdary			
Local IP			select	
Redund	ant IP			
Redund	ant Port	9001		
Protoco	I Туре	UDP	*	
Protoco	l Port	7900		
Save	Cancel			

アクセス方法	[Configuration] ペイン>[Redundancy] タブ	
重要な情報	各プライマリAutoPass License Serverに対するセカンダリAutoPass License Serverは、1つしか存在できません。	
関連タスク	「AutoPass License Serverの冗長性の設定方法」(31ページ)	
参照情報	<ul> <li>「AutoPass License Serverの冗長性 - 概要」(29ページ)</li> <li>「AutoPass License Serverの冗長性 - 考慮事項と制限事項」(29ページ)</li> </ul>	

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Enable Redundancy	AutoPass License ServerがプライマリまたはセカンダリAutoPass License Serverとして動作できるようにします。
Act as Secondary	AutoPass License Serverが、[IP] 設定で定義されたプライマリ AutoPass License Serverに対するセカンダリAutoPass License Serverと して動作するようにします。

UI要素	説明
Local IP	同じAutoPass License Server (プライマリサーバーを設定する場合はプ ライマリAutoPass License Server、セカンダリサーバーを設定する場合は セカンダリAutoPass License Server)のIPアドレス。
Select	AutoPass License ServerのローカルIPアドレスを表示します。
Redundant IP	セカンダリAutoPass License ServerのIPアドレス。
	<b>注:</b> このオプションは、プライマリAutoPass License Serverを設定す る場合のみ使用できます。
Redundant Port	セカンダリAutoPass License Serverの内部データベースが、プライマリとセ カンダリのAutoPass License Serverの間でデータを同期するためにリッス ンするポート。
	<b>注:</b> このオプションは、プライマリAutoPass License Serverを設定す る場合のみ使用できます。
Protocol Type	パートナーAutoPass License Serverに接続するための接続プロトコル: [UDP] (デフォルト) または [TCP]
	注: プライマリサーバーとセカンダリサーバーが同じサブネット上に存 在する場合は、UDPプロトコルの使用を推奨します。これらのサー バーが異なるサブネット上に存在する場合は、TCPプロトコルを使 用する必要があります。
Protocol Port	プライマリとセカンダリのAutoPass License Serverがステータス交換のため に通信するポート。

# AutoPass License Serverの冗長性 - よくある質問

特定のプライマリまたはセカンダリAutoPass License Serverに対して冗長性を無効にするにはどうすればよいですか。

[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン) で、[Enable Redundancy] チェックボックスをオフにします。

#### AutoPass License ServerをプライマリAutoPass License Serverとして定義する にはどうすればよいですか。

[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン) で、[**Enable Redundancy**] オプションのチェックボックスをオ ンにして、セカンダリサーバーの詳細を入力します (「AutoPass License Serverの冗長性の設定方 法」(31ページ)を参照)。[Redundancy] タブの詳細については、「[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン)」(33ページ)を参照してください。

#### AutoPass License ServerをセカンダリAutoPass License Serverとして定義する にはどうすればよいですか。

[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン) で、[Enable Redundancy] オプションのチェックボックスと、 [Act as Secondary] オプションのチェックボックスをオンにします。プライマリサーバーの詳細を入力しま す (「AutoPass License Serverの冗長性の設定方法」(31ページ)を参照)。[Redundancy] タブの詳 細については、「[Redundancy] タブ ([Configuration] ペイン)」(33ページ)を参照してください。

## AutoPass License Serverの冗長性 - トラブル シューティングと制限事項

プライマリとセカンダリのAutoPass License Serverを設定してあるにもかかわらず、 プライマリAutoPass License Serverがダウンしたときに、セカンダリAutoPass License Serverに接続できないのはなぜですか。

両方のAutoPass License Serverで、[Redundant Port] と[Protocol Port]の2つのポートが開いていることを確認してください。どちらかのサーバーでどちらかまたは両方のポートが閉じている場合、自動通信とデータ同期は動作しません。
# 第7章: AutoPass License Serverユーザーお よびユーザーグループの管理

本章の内容

概念

- •「AutoPass License Serverユーザー-概要」(38ページ)
- 「AutoPass License Serverユーザーグループ 概要」(38ページ)
- •「ユーザーグループの権限レベル」(38ページ)
- •「AutoPass License Serverユーザーグループ権限一覧」(39ページ)
- 「ユーザーおよびユーザーグループのソース」(40ページ)

タスク

• 「AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理方法」(42ページ)

リファレンス

- 「[Users] タブ ([User Management] ペイン)」(46ページ)
- 「[User Groups] タブ ([User Management] ペイン)」(48ページ)
- 「[User Management] 設 定 タブ ([Configuration] ペイン)」(51ページ)
- 「[LDAP] タブ ([Configuration] ペイン)」(53ページ)

「AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理 - よくある質問」(57ページ)

「AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理 - トラブルシューティングと制限 事項」(59ページ)

## 概念

### AutoPass License Serverユーザー - 概要

AutoPass License Serverの最初の設定がすんだら、管理ユーザー<sup>1</sup>を作成します。管理ユーザーとは、ライセンスとクライアントユーザーの作成とメンテナンスを担当するユーザーです。AutoPass License Serverユーザーは、クライアントユーザーと異なり、AutoPass License Serverの機能を使用して、AutoPass License Serverの農行と操作を管理することができます。

デフォルトでは、AutoPass License Server にはadminという名前の1人のユーザーが存在します(これは最初にAutoPass License Serverにログインする際に使用します)。AutoPass License Serverに最初にログインする際には、adminユーザーを使用します。一度ログインしたら、追加のユーザーを作成して、それぞれにAutoPass License Serverを使用するための固有のロールと権限を割り当てることができます。

ユーザーの作成方法については、「AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグループの管理 方法」(42ページ)を参照してください。

### AutoPass License Serverユーザーグループ - 概要

管理ユーザーを作成したら、次にユーザーグループを作成します。 ユーザーグループを使用すると、組織とライセンスの使用方法に適合するように、管理ユーザーをグループ化することができます。

#### 例

AutoPass License Serverに16人の新規ユーザーを作成します。これらの16人のユーザーは、4つの異なる製品のライセンスの管理を担当します。各製品には4人のユーザーがいて、時間帯に応じて順に管理責任を分担します。ユーザーグループを使用すれば、この4人のユーザーを同じ グループに分類することにより、ユーザーの管理をわかりやすく容易にすることができます。

さらに、ユーザーグループには、AutoPass License Serverユーザーの組織化だけでなく、AutoPass License Serverのアクセス権限を管理する機能もあります。ユーザーグループとそれに対応する権限レベルに応じて、各ユーザーに異なるアクセス権限を与え、特定の管理タスクの実行を許可または禁止することができます。詳細については、「ユーザーグループの権限レベル」(38ページ)を参照してください。

ユーザーグループの作成と管理の詳細については、「AutoPass License Serverユーザーおよびユー ザーグループの管理方法」(42ページ)を参照してください。

### ユーザーグループの権限レベル

各ユーザーグループに対して (さらにその延長で各ユーザーに対して)、特定の権限レベルが割り当て られます。アクセス権限レベルは、AutoPass License Serverの各タスクへのアクセスレベルを決定しま す。

注:個々のユーザーに権限レベルを直接割り当てることはできません。

<sup>1</sup>License Serverの管理を担当するためにLicense Serverで作成されるユーザー。

グループには、次のアクセス権限レベルを割り当てることができます。

- Administrator (管理者): このアクセス権限レベルのユーザーは、AutoPass License Serverのす べてのタスクを実行する完全な権限を持ちます。
- Product Admin (製品管理者): このアクセス権限レベルのユーザーは、自分に割り当てられた 製品のライセンスをインストールして管理する完全な権限を持ちます。AutoPass License Server の設定や、ユーザーおよびユーザーグループの管理タスクなど、AutoPass License Serverの一般 的な管理タスクは実行できません。
- View-Only (表示のみ): このアクセス権限を持つユーザーは、ライセンス情報を表示することができます。AutoPass License Serverの一般的な管理タスクは実行できません。

デフォルト では、新規ユーザーグループはすべてView-Onlyアクセス権限で作成されます。 このアクセス 権限レベルは、必要なら後で変更できます。 詳細については、 「[User Groups] タブ ([User Management] ペイン)」(48ページ) を参照してください。

ユーザーグループに追加されていないユーザーはすべて、View-Only権限を持ちます。

各アクセス権限レベルに対して許可される具体的なタスクの詳細については、「AutoPass License Serverユーザーグループ権限一覧」(39ページ)を参照してください。

ユーザーグループの権限レベルの作成と変更の詳細については、「ユーザーグループのアクセス権限の 設定」(45ページ)を参照してください。

### AutoPass License Serverユーザーグループ権限一覧

この表は、ユーザーグループのアクセス権限に基づいて、AutoPass License Serverのさまざまな操作 を実行できるかどうかを示します。アクセス権限の設定の詳細については、「ユーザーグループのアクセ ス権限の設定」を参照してください。

機能	管理者	製品管理者	表示のみ
コミューターの管理	可	可*	不可
機能レポート	可	可	可
機能レポートのエクスポート	可	可	可
コミューター/リモートコミューター ライセンス詳 細 のダウンロード	可	可 *	不可
検索結果レポート	可	可	可
取り消し	可	可*	不可
パージ	可	不可	不可
ライセンスのインストール	可	可	可
ライセンス管理	可	可	可

機能	管理者	製品管理者	表示のみ
Excelへのライセンス詳細のエ クスポート	可	可	可
ライセンスのアーカイブ	可	可*	不可
アーカイブされたライセンスの管 理	可	可 *	不可
ライセンスの借用	可	可*	不可
チェックイン履歴の表示	可	可	可
アーカイブされたライセンスの削 除/返却	可	可*	不可
ライセンスのクリーンアップ	可	可*	不可
プールの作成	可	可	可
機能のプールへのマッピング	可	可*	不可
製品のプールへのマッピング	可	可*	不可
リモートコミューターのチェックア ウト	可	可 *	不可
リモートコミューターのチェックイ ン	可	可	可
ユーザー管理	可	不可	不可
設定	可	不可	不可

\*権限は、製品管理者ユーザーに割り当てられた製品に限定されます。

## ユーザーおよびユーザーグループのソース

ユーザーおよびユーザーグループを作成する際には、ユーザーおよびユーザーグループ情報を保存する 場所を、次の中から選択できます。

- AutoPass License Server内部データベース: ユーザーおよびユーザーグループ情報は、すべて AutoPass License Serverにローカルに保存され、データベースのデータの作成、変更、削除を行 うことができます。
- LDAPデータベース: ユーザーおよびユーザーグループ情報は、すべて外部のLDAPサーバーに保存 されます。ユーザーおよびユーザーグループは、LDAPサーバーからAutoPass License Serverにイン ポートされます。LDAPサーバー上のデータの作成、変更、削除をAutoPass License Serverから 行うことはできません。

LDAPサーバーからユーザーおよびユーザーグループをインポートした後で、ユーザー情報を変更した り、ユーザーを削除または追加したりすることはできません。ユーザー情報はLDAPサーバーに保存さ れているからです。ただし、LDAPサーバーからインポートしたユーザーを、AutoPass License Serverの 内部データベースに保存されているユーザーグループに追加して、これらのユーザーに特権レベルを付 与することは可能です。

**注**: LDAPサーバーからユーザーグループをインポートした場合、AutoPass License Serverで作成して内部データベースに保存したユーザーを追加することはできません。

LDAP接続の設定方法については、「[LDAP] タブ ([Configuration] ペイン)」(53ページ) を参照してく ださい。

# タスク

### AutoPass License Serverユーザーおよびユーザーグ ループの管理方法

このタスクでは、AutoPass License Server管理ユーザーおよびユーザーグループを作成して管理するための手順を説明します。

このタスクには、次のステップが含まれます。

- 「ユーザーの作成」(42ページ)
- •「ユーザーのステータスの変更」(43ページ)
- •「ユーザー詳細の更新」(43ページ)
- 「ユーザーのパスワードのリセット」(43ページ)
- 「既存のユーザーグループへのユーザーの追加」(44ページ)
- •「新規ユーザーグループの追加」(44ページ)
- •「グループ詳細の更新」(44ページ)
- 「ユーザーグループのアクセス権限の設定」(45ページ)
- •「LDAPサーバーからのグループのインポート」(45ページ)
- 「製品管理者グループへの製品の関連付け」(45ページ)

#### ユーザーの作成

- 1. [Users] タブ ([User Management] ペイン) で、[Create New User] ボタン をクリックします。
- 2. [Create New User] ダイアログボックスで、ユーザーの名と姓、およびユーザーの電子メールアドレスを入力します。

**注**:指定したアドレスに、ユーザーのパスワードの詳細を記したメッセージがAutoPass License Serverから送信されるため、有効な電子メールアドレスを入力する必要がありま す。

3. [Create] をクリックします。

[Users] タブの上 のペインにあるユーザー表 に、新しいユーザーが追加されます。 下のペインに、 ユーザーの詳細が表示されます。

#### ユーザーのステータスの変更

- 1. [Users] タブ ([User Management] ペイン) の上 のペインで、ステータスを更 新 するユーザーのラジオ ボタンを選 択します。
- 2. 下のペインで、[Change Status] リンクをクリックします。

下のペインでユーザーのステータスが (activeまたはinactiveに)変化します。

**注:** ユーザーがinactiveと表示されている場合、そのユーザーはAutoPass License Serverに ログインすることができません。

#### ユーザー詳細の更新

- 1. [Users] タブ ([User Management] ペイン) の上 のペインで、ステータスを更 新 するユーザーのラジオ ボタンを選 択します。
- 2. 下のペインで、変更した詳細を、関連する編集ボックスに入力します。

注: デフォルトの管理者に対しては、電子メールアドレスだけを更新できます。

3. [Save] をクリックします。

[Users] タブの上のペインにあるユーザー表に、新しい詳細が表示されます。

注: ユーザーの詳細を変更するには、ユーザーとしてAutoPass License Serverにログインした後に、ウィンドウの上部にある<ユーザー名>のリンクをクリックする方法もあります。

#### ユーザーのパスワードのリセット

- [Users] タブ ([User Management] ペイン)の上のペインで、パスワードをリセットするユーザーのラジ オボタンを選択します。
- 2. 下のペインで、[Reset Password] リンクをクリックします。

ユーザーのパスワードがリセットされ、新しいパスワードを記した電子メールメッセージが、下のペインに指定されたアドレスに送信されます。

**注:** ユーザーのパスワードをリセットするには、AutoPass License Server のログインページで ユーザーのログイン名を入力して、[Forgot Password] リンクをクリックする方法もあります。

#### 既存のユーザーグループへのユーザーの追加

- 1. [Users] タブ ([User Management] ペイン) の上 のペインで、ユーザーグループに追加 するユーザー のラジオボタンを選択します。
- 2. 下のペインで、[Search] ボタン をクリックします。[Assign Groups] ダイアログボックスが開きます。
- 3. [Assign Groups] ダイアログボックスで、ユーザーを追加するグループのチェックボックスを選択します。
- 4. [Add] をクリックします。

選択したグループが、[Users] タブの下のペインにある [Associated User Groups] リストに追加されます。

注: ユーザーをグループから削除するには、グループ名の隣の[Delete] ボタン≥をクリックします。

#### 新規ユーザーグループの追加

- 1. [User Groups] タブ ([User Management] ペイン) で、[Create New Group] ボタン 🍊 をクリック します。
- 2. [Create New Group] ダイアログボックスで、[Group Name]、[Description]、[Group Email] を入 力します。
- 3. このグループに管理者 アクセス権限を付与するには、[Mark as administrator] オプションを選択 します。
- 4. [Create] をクリックします。

[User Groups] タブの上のペインの表に新しいユーザーグループが追加され、下のペインにグループの詳細が表示されます。

#### グループ詳細の更新

- 1. [User Groups] タブ ([User Management] ペイン) の上 のペインで、ステータスを更新 するユーザー グループのラジオボタンを選 択します。
- 2. 下のペインで、変更した詳細を、関連する編集ボックスに入力します。
- 3. [Save] をクリックします。

[User Groups] タブのユーザーグループ表に新しい詳細が表示されます。

#### ユーザーグループのアクセス権限の設定

- 1. [User Groups] タブ ([User Management] タブ) の上 のペインで、アクセス権 限を設 定 するユーザー のラジオボタンを選 択します。
- 2. 下のペインの [Manage User Groups] タブで、アクセス権限レベルを選択します。
- 3. [Save] をクリックします。

[Manage User Groups] タブに、正しいアクセス権限レベルと、権限レベルの詳細が表示されます。

**注:** すべてのユーザーグループには、デフォルトで最初にView-Only権限レベルが割り当てられます。

#### LDAPサーバーからのグループのインポート

- [User Management] タブ ([Configuration] ペイン) で、ユーザーおよびユーザーグループのソースとして [LDAP] を選択します。詳細については、「[User Management] 設定タブ ([Configuration] ペイン)」(51ページ) を参照してください。
- 2. [Save] をクリックします。
- 3. [LDAP] タブ ([Configuration] ペイン) で、LDAPサーバーの詳細を入力します。詳細については、 「[LDAP] タブ ([Configuration] ペイン)」(53ページ)を参照してください。
- 4. [Save] をクリックします。

[User Management] ペインの [Users] タブおよび [User Groups] タブにユーザーまたはユーザーグ ループが追加されます。

#### 製品管理者グループへの製品の関連付け

- 1. [User Groups] タブ ([User Management] ペイン) で、製品を関連付ける製品管理者グループを 選択します。
- 2. [Manage User Groups] タブ ([Users] タブの下 のペイン) で、[**Search**] ボタン をクリックします。 [Assign Products] ダイアログボックスが開きます。
- 3. [Assign Products] ダイアログボックスで、このグループに関連付ける製品を選択して、[Add] をクリックします。

このグループに関連付けられた製品が、[Manage User Groups] タブの [Associated Products] リストに表示されます。

## リファレンス

## [Users] タブ ([User Management] ペイン)

このタブでは、AutoPass License Serverへの管理ユーザーの追加、ユーザー詳細の追加と管理、 ユーザーグループへのユーザーの追加を行うことができます。

Users	User Groups					
lanage	Users					
						?
						1
Select	User Name	First Name	Status	Created Time	Last Logged T	Time Delete
0	admin	Administrator	active	20 Nov 12 10:42:53 IST	3 Dec 12 00:16:	17 IST
۲	alexuser@server.com	Alex	active	3 Dec 12 00:25:56 IST		8
User : Use	alexuser@server.com r Detail					
User : Use	alexuser@server.com r Detail		As	ssociated User Groups	Search User Groups	Q
User : Use Status	alexuser@server.com r Detail Change Status		As	ssociated User Groups	Search User Groups	Q. 🔀
User : Use Status active	alexuser@server.com r Detail Change Status		As	Sociated User Groups	Search User Groups	Q. 
User : Use Status active Email alexus	alexuser@server.com		As	Sociated User Groups Group 1 Group 2 Group 3	Search User Groups	Q. 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20
User : Use Status active Email alexus	alexuser@server.com r Detail Change Status ser@server.com		As	Sociated User Groups Group 1 Group 2 Group 3	Search User Groups	
User : Use Status active Email alexus First Na	alexuser@server.com r Detail Change Status ser@server.com ame		As	Sociated User Groups Group 1 Group 2 Group 3	Search User Groups	Q. 22 23 23 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24

アクセス方法	[User Management] ペイン>[Users] タブ
重要な情報	<ul> <li>ユーザー資格情報を更新するには、AutoPass License Serverにログインしているときに、AutoPass License Serverの上部にある&lt;ユーザー名&gt;のリンクをクリックする方法もあります。</li> </ul>
	<ul> <li>新規ユーザーを作成する前に、メールサーバーが設定されていることを確認してください。詳細については、「Mail Configuration」(22ページ)を参照してください。</li> </ul>

関連タスク	<ul> <li>「ユーザーの作成」(42ページ)</li> </ul>
	• 「ユーザーのステータスの変更」(43ページ)
	• 「ユーザー詳 細 の更 新 」(43ページ)
	<ul> <li>「ユーザーのパスワードのリセット」(43ページ)</li> </ul>
	•「既存のユーザーグループへのユーザーの追加」(44ページ)
参照情報	「AutoPass License Serverユーザー - 概要」(38ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
1	<b>Create User (ユーザーの作成):</b> [Create New User] ダイアログボックス を開きます。ここでは、ユーザーの詳細を入力することができます。
User name	AutoPass License Serverへのログインに使用するユーザー名。
	<b>注 :</b> [Users] タブのユーザー表に表示されるユーザー名は、[Create New User] ダイアログボックスに入力された電子メールアドレスで す。
First Name	[Create New User] ダイアログボックスに入力したユーザーの名。
Status	ユーザーのステータス: [active] または [inactive]。
	ステータスがinactiveのユーザーは、AutoPass License Serverにログイン できません。
Created Time	ユーザーが作成された日付と時刻。
Last Logged Time	ユーザーが最後にAutoPass License Serverにログインした日付と時刻。
8	<b>Delete (削除):</b> ユーザーをAutoPass License Serverのデータベースから 削除します。
	<b>注:</b> LDAPサーバーからユーザーをインポートした場合、[ <b>Delete</b> ] を 削除すると、ユーザーはAutoPass License Serverの内部データ ベースからのみ削除されます。 LDAPサーバーからは削除されません。
$\mathbf{x}$	<b>Export to Excel (Excellニエクスポート)</b> :現在表示されているレポート をExcellニエクスポートします。
Email	[Create New User] ダイアログボックスに入力したユーザーの電子メール アドレス。
Reset Password	ユーザーのパスワードをリセットします。新しいユーザー詳細を記した電 子メールメッセージがユーザーに送信されます。

UI要素	説明
Associated User Groups	選択したユーザーが属するグループ。
٩	<b>Search (検索):</b> [Assign User Groups] ダイアログボックスを開きます。 こ こでは、ユーザーをユーザーグループに割り当てることができます。
×	ユーザーグループからユーザーを削除します。
	注: [Associated User Groups] リスト でこのボタンをクリックしても、 ユーザーはAutoPass License Serverからは削除されません。

## [User Groups] タブ ([User Management] ペイン)

このタブでは、ユーザーグループを作成し、アクセス権限レベルを設定して、ユーザーグループにユーザーを追加することができます。

Users	User Groups				
lanage	User Groups				
					?
					***
Select	Group Name	Group Description	Group Email	Created Time	Delete
0	Group 1		group1@server.com	2 Dec 12 13:34:37 IST	8
۲	Group 2		group2@server.com	3 Dec 12 00:26:51 IST	8
0	Group 3		group3@server.com	3 Dec 12 00:30:04 IST	8
User 0	Group : Group 2				
Man					
Privileg	age User Groups	Manage Members			
Admini	age User Groups je istrator 🔻	Manage Members	User Group with adminis configured license Serve	strator privilege have full access to all the r products	
Group I	age User Groups je istrator 💌	Manage Members	User Group with adminis configured license Serve	strator privilege have full access to all the er products	
Group I	age User Groups je istrator * E-Mail 2@server.com	Manage Members	User Group with adminis configured license Serve	strator privilege have full access to all the r products	
Group I aroup	age User Groups je istrator * E-Mail 2@server.com btion	Manage Members	User Group with adminis configured license Serve	strator privilege have full access to all the r products	
Group I group Descrip	age User Groups je istrator * E-Mail 2@server.com otion	Manage Members	User Group with adminis configured license Serve	strator privilege have full access to all the r products	

アクセス方法	[User Management] ペイン>[User Groups] タブ	
		1

重要な情報	新規ユーザーグループを作成する前に、メールサーバーが設定されていることを 確認してください。詳細については、「Mail Configuration」(22ページ)を参照し てください。
関連タスク	•「新規ユーザーグループの追加」(44ページ)
	• 「グループ詳細の更新」(44ページ)
	• 「ユーザーグループのアクセス権限の設定」(45ページ)
参照情報	•「AutoPass License Serverユーザーグループ - 概要」
	• 「ユーザーグループの権限レベル」
	•「AutoPass License Serverユーザーグループ権限一覧」

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

#### ユーザーグループ表

UI要素	説明
1	<b>Create User Group (ユーザーグループの作成)</b> : [Create New User Group] ダイアログボックスを開きます。ここでは、新規ユーザーグループの詳細を入 カして、グループを作成することができます。
Group Name	[Create New User Group] ダイアログボックスに入力したグループの名前。
Group Description	[Create New User Group] ダイアログボックスに入 力したグループの説 明。
Group Email	[Create New User Group] ダイアログボックスに入力したグループの電子メールアドレス。
	<b>注:</b> 新規ユーザーグループを作成または削除した場合、このアドレスに 電子メールメッセージが送信されます。
Created Time	グループが作成された日付と時刻。
8	<b>Delete (削除):</b> 選択したユーザーグループをAutoPass License Serverの内 部データベースから削除します。
	<b>注</b> :LDAPサーバーからユーザーグループをインポートした場合、 [ <b>Delete</b> ] をクリックしても、ユーザーグループはLDAPサーバーから削除されません。
	<b>Export to Excel (Excellこエクスポート)</b> :現在選択されているレポートを Excellこエクスポートします。

### [Manage User Groups] タブ

UI要素	, 説明
Privilege	選択したグループのアクセス権限レベル。
	各グループは、次の3つの権限レベルのうち1つを持ちます。
	Administrator
	Product Admin
	View-Only
	ユーザーグループのデフォルトのレベルはView-Onlyです。
	各タイプのユーザーの権限の詳細については、「ユーザーグループの権限レ ベル」(38ページ)を参照してください。
Associated	選択したユーザーグループに関連付けられた製品。
Products (製品管理者グ ループのみ)	製品管理者権限レベルのユーザーグループは、このウィンドウに記載された 製品に対してのみアクセス権限を持ちます。
م	<b>Search (検索):</b> [Assign Products] ダイアログボックスを開きます。 ここでは、 Product Adminグループを現在設定されている製品に関連付けることができ ます。
×	<b>Delete (削除):</b> Product Adminユーザーグループとの関連付けから製品を削除します。
Group Description	[Create New User Group] ダイアログボックスに入力したグループの説明。
Group Email	[Create New User Group] ダイアログボックスに入 カしたグループの電子メールアドレス。

#### [Manage Members] タブ

UI要素	説明
<ユーザー名>	ユーザーを名前で検索して、特定のユーザーグループに追加することができ ます。
ά	[Assign Users] ダイアログボックスを開きます。 ここでは、 ユーザーグループに 追加するユーザーを選択できます。
	注: [Assign Users] ダイアログボックスには、 すべてのAutoPass License Serverユーザーが表示 されます。
<関連付けられた ユーザーのリスト>	ユーザーグループに追加されたすべてのユーザーのリスト。
×	Remove (削除): ユーザーグループからメンバーを削除します。
	注: このタブで [Remove] をクリックしても、ユーザーは削除されません。

## [User Management] 設定タブ ([Configuration] ペイン)

このタブでは、ユーザーおよびユーザーグループに関する設定を実行できます。

Main	User Management	Redundancy Configuration LDAP	
			?
User N	User Management Configuration		
Confi	gure password setting	gs	
©Us ©Us □ Re	User password will never expires     User password will expire as per below settings     Reset password on the first login for all users      Change password after     days		
Config	Configure email notification		
EI 🗐	Enable email notification while adding or removing users from group		
Configure sources for users and groups			
Grou	ps		
C	LDAP 💿	DB	
User	5		
C	LDAP 💿	DB	
Save	Cancel		

アクセス方法	[Configuration] ペイン>[User Management] タブ

関連タスク	<ul> <li>「ユーザーのパスワードのリセット」(43ページ)</li> </ul>
	• 「LDAPサーバーからのグループのインポート」(45ペー ジ)
参照情報	「ユーザーおよびユーザーグループのソース」(40ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明	
Configure password settings	ユーザーパスワードの有効期限のオプションを設定できます。可能な 設定は次の2通りです。	
	・ User password will never expire (有効期限なし)	
	・ User password will expire as per below settings (有効期限 を下に設定)	
Reset password on the first login for all users	各 AutoPass License Serverユーザーに対して、AutoPass License Serverへの最初のログイン時に、ユーザーのパスワードをリセットするように求めます (デフォルト)。	
	<b>注</b> : このオプションは、[User password will expire as per below settings] オプションを選択した場合のみ有効になりま す。	
Change password after <> days	AutoPass License Serverユーザーに対して、指定した日数の経 過後に、パスワードを変更するように求めます。	
	注: このオプションは、 [User password will expire as per below settings] オプションを選択した場合のみ有効になりま す。	
Enable Email notification while adding or removing users from group	ユーザーグループにユーザーが追加または削除されたときに、電子 メールメッセージによる通知をユーザーに送信します。電子メールメッ セージは、[Users] タブ ([User Management] ペイン) でユーザーに対 して指定されたアドレスに送信されます。詳細については、「[Users] タブ ([User Management] ペイン)」(46ページ)を参照してください。	
Configure sources for users and groups	AutoPass License Serverユーザーおよびグループを作成するための ソースを選択します。	
	AutoPass License Server内部データベース (DB) またはLDAPサー バーのどちらかを、ユーザーおよびユーザーグループのソースとして選択 する必要があります。	
	<b>注:</b> ユーザーのソースは、ユーザーグループのソースと同じである 必要はありません。	

## [LDAP] タブ ([Configuration] ペイン)

このタブでは、LDAPサーバーに対する接続オプションを定義できます。

Main User Management Redundan	ICY LDAP		
LDAP Configuration			
Choose LDAP Server	Select Server		
LDAP Connection		User Element Mapping	
Protocol *	Idaps 👻	User Base *	ou=people,dc=example,d
Host Name *	16.183.93.85	User SubTree	OBJECT_SCOPE *
Port *	10636	Unique ID Attribute *	uid
	Test Connection	First Name Attribute *	cn
		Last Name Attribute *	sn
Authentication		Email Attribute *	mail
Authentication Method *	Simple *	User Filter *	( (objectClass=person)(ol
User Name	Uid=admin,ou=system		Test Mapping
Password	•••••		
	Test Authentication	Group Element Mapping	
		Group Base*	ou=Groups,dc=example,c
		Group SubTree	SUBTREE_SCOPE *
		Group Member Attribute *	member
		Group Filter *	(objectClass=groupOfNan
Save Cancel			

アクセス方法	[Configuration] ペイン>[LDAP] タブ	
関連タスク	「LDAPサーバーからのグループのインポート」(45ページ)	
参照情報	「ユーザーおよびユーザーグループのソース」(40ページ)	

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Choose LDAP server	使用するLDAPサーバーのタイプを選択します。
	・ エンタープライズLDAPサーバー
	Microsoft Active Directory
	どちらかのタイプのサーバーを選択すると、 デフォルトのプロパティがペ インに表示されます。 ただし、 プロパティは必要に応じて変更できま す。

UI要素	説明	
LDAP Connection	サーバーに対する次の接続設定を選択できます。	
	・ Protocol: [Idap] または [Idaps]	
	• Host name: サーバーのホストアドレス	
	• Port: サーバーのエントリポート	
	<b>注</b> :すべてのフィールドが必須です。	
Authentication Method	次の接続認証プロパティを設定できます。	
	• Authentication method (必須フィールド)	
	■ anonymous (認証パラメーターなし)	
	■ simple (ユーザー名とパスワードによる認証)	
	<ul> <li>User name/password: シンプル認証に必要なユーザー名とパスワード</li> </ul>	
	注: ユーザー名とパスワードの編集フィールドは、認証方法 として [simple] を選択した場合のみ有効になります。 例:	
	User Name = uid=admin,ou=system	

UI要素	
User Element Mapping	LDAPサーバーに保存されているユーザーがAutoPass License Serverのロールにマップされる方法を設定できます。
	次の項目を設定できます。
	• User Base: ユーザーエントリを記録しているLDAPディレクトリの 場所 (必須フィールド)
	<ul> <li>User SubTree: LDAPサーバー上のユーザー用のサブディレクト リの場所 (メインディレクトリにない場合)</li> <li>■ OBJECT_SCOPE - 現在のオブジェクトだけを検索</li> </ul>
	<ul> <li>ONELEVEL_SCOPE - 現在のオブジェクトと1つ下のオブジェクトを検索</li> </ul>
	■ SUBTREE_SCOPE - サブツリー内を検索
	• Unique ID Attribute: オブジェクトクラスに指定されたユーザーの 名前を表すオブジェクトクラスの属性(必須フィールド)
	• First Name Attribute: オブジェクトクラスに指定されたユーザーの名を表すオブジェクトクラスの属性 (必須フィールド)
	• Last Name Attribute: オブジェクトクラスに指定されたユーザーの姓を表すオブジェクトクラスの属性 (必須フィールド)
	• Email Attribute: オブジェクトクラスに指定されたユーザーの電 子メールアドレスを表すオブジェクトクラスの属性 (必須フィール ド)
	• User Filter: ユーザーエントリを識別 するフィルター (必須 フィールド)
	例:
	( (objectClass=person)(objectClass=applicationProcess))

UI要素	説明	
User Group Mapping	LDAPサーバーに保存されているユーザーグループがAutoPass License Serverのロールにマップされる方法を設定できます。	
	次の項目を設定できます。	
	• Group Base: ユーザーグループを記録しているLDAPサーバー ディレクトリの場所 (必須フィールド)	
	• Group SubTree: LDAPサーバー上のユーザーグループ用のサブ ディレクトリの場所 (メインディレクトリにない場合)	
	• Group Member Attribute: オブジェクトクラスに指定されたユー ザーグループの名前を表すオブジェクトクラスの属性 (必須フィー ルド)	
	• Group Filter: ユーザーグループエントリを識別するフィルター	
	例:	
	(objectClass=groupOfNames)	

## AutoPass License Serverユーザーおよびユーザー グループの管理 - よくある質問

# AutoPass License Serverユーザーはユーザーグループに属 する必要 がありますか。

いいえ。ただし、ユーザーグループに属していないAutoPass License Serverユーザーは、View-Onlyア クセス権限しか持つことができません。

#### ユーザーがAutoPass License Serverにログインできないようにするにはどうすれば よいですか。

[Users] タブ ([User Management] ペイン) で、ユーザーのステータスをinactiveに変更します。これにより、そのユーザーはAutoPass License Serverにログインできなくなります。

#### ユーザーがパスワードを忘れた場合、パスワードを回復するにはどうすればよいです か。

ユーザーは、次のいずれかの方法でパスワードをリセットできます。

- 「[Users] タブ ([User Management] ペイン)」で [**Reset Password**] リンクをクリックして、AutoPass License Server管理者にパスワードのリセットを依頼します。
- [Users] タブ ([User Management] ペイン) で、[**Reset Password**] リンクを使用してユーザーのパス ワードをリセットします。詳細については、「ユーザーのパスワードのリセット」(43ページ)を参照してく ださい。

#### ユーザーグループを作成する理由は何ですか。

ユーザーグループは、製品を管理し、ユーザーにアクセス権限を割り当てるために作成します。ユー ザーグループの作成後、AutoPass License Serverユーザーはグループに割り当てられ、AutoPass License Server管理者によってユーザーグループにアクセス権限が割り当てられます。

#### 管理者は個々のユーザーに権限レベルを直接割り当てることができますか。

いいえ。権限はユーザーグループに割り当てられます。アクセス権限レベルの割り当てや変更は、ユー ザーが属するグループに対して行う必要があります。

**注:** ユーザーグループに割り当てられていないユーザーは、View-Onlyアクセス権限を持ちます。

#### AutoPass License Server管理者は、LDAPユーザーまたはユーザーグループを LDAPサーバーから削除することができますか。

いいえ。インポートしたユーザーやユーザーグループをAutoPass License Serverから削除できるだけで す。ユーザーやユーザーグループをAutoPass License Serverから削除しても、ホストLDAPサーバーからは削除されません。

#### 製品管理者ユーザーが管理アクセス権を持つ製品を割り当てるにはどうすればよい ですか。

[Manage User Groups] タブ ([User Groups] タブ) で、各製品管理者グループに対して、担当製品を 追加します。詳細については、「製品管理者グループへの製品の関連付け」(45ページ)を参照してく ださい。

## AutoPass License Serverユーザーおよびユーザー グループの管理 -トラブルシューティングと制限事項

パスワード設定や電子メール通知を設定するオプションが、[User Management] タブ ([Configuration] ペイン) にないのはなぜですか。

ユーザーまたはユーザーグループのソースとしてLDAPを選択した場合、パスワード設定と電子メール 通知の設定を変更することはできません。

# 第8章: ライセンス管理

本章の内容

#### 概念

- 「ライセンスのインストール」(61ページ)
- 「ライセンス使用状況レポート」(61ページ)
- 「ライセンスチェックインおよび履歴の検索」(62ページ)
- 「ライセンスのアーカイブと復元」(63ページ)
- 「ライセンスの借用」(63ページ)
- 「ライセンスのクリーンアップ」(64ページ)

#### タスク

•「ライセンスの管理方法」(65ページ)

#### リファレンス

- 「[License Usage] ペイン」(69ページ)
- 「[Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)」(70ページ)
- 「[Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)」(72ページ)
- 「[Search Results] ページ ([License Usage] ペイン)」(73ページ)
- 「[Install License] タブ ([License Management] ペイン)」(75ページ)
- 「[License Management] タブ ([License Management] ペイン)」(76ページ)
- 「[Archive License] タブ ([License Management] ペイン)」(77ページ)
- 「[Borrow License] タブ ([License Management] ペイン)」(78ページ)
- 「[Borrow License Request] ウィンドウ ([Borrow License] タブ)」(80ページ)
- 「[License Clean Up] タブ ([License Management] ペイン)」(81ページ)

「ライセンス管理 - よくある質問」(83ページ)

「ライセンス管理 - トラブルシューティングと制限事項」(86ページ)

## 概念

### ライセンスのインストール

AutoPass License Serverをインストールして設定したら、AutoPass License Serverにライセンスをインストールする必要があります。このステップでは、ライセンスをチェックアウト操作に対して利用可能にし、その他のライセンス管理タスク(コミューターライセンスをチェックアウトするユーザープールに対するライセンスの予約など)を実行できるようにします。

ライセンスをインストールするには、1つまたは複数のライセンスキーを入力します。また、ライセンスキー ファイルをロードしてライセンスをインストールすることもできます。

注: ライセンスキーファイルのサイズは、4 MBを超えることはできません。

ライセンスキーは、製品単位および機能単位で入手します。 ライセンスキーの取得方法については、 各製品のドキュメントを参照してください。

ライセンスキーのインストール方法については、「ライセンスのインストール」(65ページ)を参照してください。

## ライセンス使用状況レポート

ライセンスをインストールした後、AutoPass License Serverに現在インストールされ使用されているラ イセンスを追跡して表示できるように、AutoPass License Serverにいくつかのページが用意されていま す。

[License Management] タブ ([License Management] ペイン) には、インストール済みの機能ライセン スに関する次のような基本情報が表示されます。

- ・製品に対して利用可能なすべての機能ライセンス(識別番号と詳細を含む)
- インストール済みキャパシティ
- ライセンスの開始日
- ライセンスの有効期限
- ライセンスのインストール日
- ライセンスをインストールしたAutoPass License Serverユーザーの名前

ライセンスレポートの詳細は、Excelにエクスポートすることができます。[License Management] タブの 詳細については、「[License Management] タブ ([License Management] ペイン)」(76ページ) を参照し てください。

これに加えて、インストール済みライセンスの使用状況の詳細が、[License Usage] ペインに表示されます。 このペインには、 すべてのインストール済みライセンスのリストに関する次のような追加情報が 表示されます。

- ・機能ライセンスの識別情報(番号と説明を含む)
- •利用可能なライセンスキャパシティ
- ライブおよびコミューターライセンスとして現在チェックアウトされているキャパシティ

[License Management] タブと同様に、ライセンスレポートの詳細をExcelにエクスポートすることができます。詳細については、「[License Usage] ペイン」(69ページ)を参照してください。

特定の機能ライセンスの詳細を表示するには、[License Usage] ペインで機能名をクリックして、 [Feature Report] ページを表示します。

[Feature Report] ページには、機能ライセンスに関する次のような具体的なチェックアウト情報が表示 されます。

- ・ チェックアウトの開始日と有効期限
- チェックアウトのタイプ: [Live] または [Commuter]
- チェックアウトされているキャパシティ
- ライセンスのチェックアウトおよびチェックイン詳細
- ライセンスをチェックアウトしたユーザーが属するプール

このレポートもExcelにエクスポートすることができます。

ライセンスにコミューターライセンスのプロパティを制御する機能がある場合、[Feature Report] ページで コミューターライセンスのプロパティも設定します。

[Feature Report] ページの詳細については、「[Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)」(70 ページ) を参照してください。

### ライセンスチェックインおよび履歴の検索

[License Usage] ペインで、 すべてのインストール済 みライセンスのチェックインおよびチェックアウト履歴 を検索することができます。

次のような基準に基づいて検索できます。

- 機能IDおよび機能IDバージョン
- 機能の説明
- チェックアウトおよびチェックイン履歴があるライセンスのクライアントユーザー属性
- ライセンスの開始日および有効期限

検索結果を使用して、サーバー操作履歴をパージしたり、ライセンスのチェックアウトを取り消したりす ることができます。

ライセンスをパージ<sup>1</sup>すると、ライセンスのチェックイン履歴がAutoPass License Serverから削除されます。 パージされた履歴は、AutoPass License Serverから削除されます。

ライセンスを (管理者が) 取り消し<sup>2</sup>すると、ライブコンカレントライセンスは強制的にAutoPass License Serverにチェックインされます。 優先度が高いクライアントユーザーのためにライセンスが必要な場合、 または借用したライセンスを他のAutoPass License Serverに返す必要がある場合、管理者はライセ ンスを取り消すことができます。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>License Serverからチェックイン履歴を削除するプロセス。

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>ライブコンカレントライセンスを強制的にチェックインして、他のLicense Server機能で使用できるようにするプロセス。

AutoPass License Serverとクライアントコンピューターの間に接続が存在する場合、ライセンスが取り 消されると、チェックアウトされたライセンスを保持しているクライアントユーザーに2分以内にメッセージ が送信され、ライセンスは2分以内に自動的にAutoPass License Serverにチェックインされます。接続がない場合、AutoPass License ServerはクライアントコンピューターがAutoPass License Serverに 接続するまでメッセージを送信し続けます。クライアントユーザーがAutoPass License Serverに接続す るまで、ライセンスを取り消すことはできません(ライセンスがまだ有効期限に達していない場合)。

注:コミューターライセンスを取り消すことはできません。

#### 例

#### 使用例1

機能Aに対してインストール済みキャパシティが100あります。User1はライブコンカレントライセンス キャパシティを40チェックアウトしています。User2がキャパシティ80をチェックアウトする必要がある 場合、検索結果を使用してUser1を検索し、User1のライセンスを取り消すことができます。

#### 使用例2

次回の反復で、ユーザーが利用可能キャパシティをどのように使用するかを計画しています。 「[Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)」で説明されている検索基準を使用して、有 効期限が近いライセンスを検索することにより、特定の日に利用可能なライセンスの数を知るこ とができます。

### ライセンスのアーカイブと復元

特定のライセンスを、AutoPass License Serverに保持したままチェックアウト不可にするには、ライセンスをアーカイブします。

アーカイブ<sup>1</sup>できるのは、[License Management] タブに表示されている未使用のライセンスです。ライ センスをアーカイブすると、現在アクティブなライセンスのリスト ([License Management] タブに表示) か らライセンスが削除されます。

アーカイブしたライセンスは、AutoPass License Serverから削除することもできます。 ライセンスをアク ティブに使用できる状態に戻すには、 ライセンスを復元すると、 再びチェックアウト できるようになりま す。

### ライセンスの借用

AutoPass License Serverが製品または機能に対するユーザーの要求を満たすために追加のライセンスを必要とする場合、AutoPass License Serverは他のAutoPass License Serverからライセンスを 借用<sup>2</sup>することができます。

ライセンスの借用は一時的なもので、ライセンス借用要求に有効期限を設定します。有効期限を 過ぎると、ライセンスは元のAutoPass License Serverに返却されます。

<sup>1</sup>ライセンスをチェックアウト可能なアクティブ状態から除外するプロセス。

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>別のLicense Serverからライセンスキャパシティを取得するプロセス。

特定のAutoPass License Serverからのみ借用するようにAutoPass License Serverを設定することも、サブネット上で他の利用可能なAutoPass License Serverを検索するように設定することもできます。

#### 例

機能Aのインストール済みキャパシティは40です。2人のユーザーがすでに機能Aのライセンスを保持しており、チェックアウト済みのキャパシティは15です。その後に別のユーザーがライセンスキャパシティをチェックアウトする必要がある場合、借用オプションを使用して、必要なライセンスキャパシティを別のAutoPass License Serverから取得することができます。

## ライセンスのクリーンアップ

状況によっては、選択したライセンスのライセンスキャパシティが削除されることがあります。たとえば、 次のようなシナリオです。

- クライアントユーザーのシステムクラッシュのためにコミューターライセンスが失われた場合
- 製品が時刻改ざんを検出するように設定されており、システムの時刻が過去に戻されるか時刻が 改ざんされた場合

このような場合、 <del>ライセンスのクリーンアップ<sup>1</sup>を実行することにより、 失われたキャパシティを回復することができます。</del>

ライセンスのクリーンアップを実行するには、サポートチームに連絡してライセンスクリーンアップキーを入手する必要があります。 ライセンスクリーンアップキーを適用すると、 ライセンスキャパシティは以前のレベルに戻されます。

**注**: ライセンスのクリーンアップによるライセンスの復元には、製品または機能ライセンスのタイプご とに固有の制限があります。ライセンスのクリーンアップ制限の表示と設定の詳細については、各 製品のドキュメントを参照してください。

<sup>1</sup>機能または製品のライセンスキャパシティが、システムクラッシュまたは時刻改ざんのために失われた場合に、キャパシティを回復するプロセス。

# タスク

## ライセンスの管理方法

このタスクでは、AutoPass License Serverにインストールされているライセンスの管理に必要な手順を説明します。

このタスクには、次のステップが含まれます。

- 「ライセンスのインストール」(65ページ)
- 「ライセンスのアーカイブ」(65ページ)
- 「アーカイブされたライセンスの復元」(66ページ)
- 「ライセンスの借用」(66ページ)
- 「ライセンスのクリーンアップによるライセンスキャパシティの復元」(67ページ)
- 「ライセンスのチェックインおよびチェックアウト履歴の検索」(67ページ)
- •「ライセンスのチェックイン履歴のパージ」(67ページ)
- •「チェックアウトされたライセンスの取り消し」(68ページ)
- •「機能ライセンスのコミューター設定の管理」(68ページ)
- 「AutoPass License Serverからのライセンスの削除」(68ページ)

#### ライセンスのインストール

1. [Install License] タブ ([License Management] ペイン) で、製品のライセンスキーを入力します。 ラ イセンスキーの取得方法については、各製品のドキュメントを参照してください。

注: ライセンスキーをファイル(.datファイルなど)の形式で受け取った場合、[Browse Licenses File]を選択して、ファイルがあるディレクトリを参照します。 ライセンスファイルのサ イズは、4 MBを超えることはできません。

- 2. [Next] をクリックします。
- 3. [Install Licenses] ページで、インストールするライセンスを選択して、[Install Licenses] をクリック します。

ライセンスがAutoPass License Serverにインストールされ、[License Management] タブ ([License Management] ペイン) に表示されます。

#### ライセンスのアーカイブ

- 1. [License Management] タブ ([License Management] ペイン) で、アーカイブする未 使 用 のライセン スを選 択します。
- 2. [Archive] をクリックします。

[License Management] タブのインストール済 みライセンスのリストからライセンスが削除され、 チェックアウト操作に利用できなくなります。アーカイブされたすべてのライセンスのリストが、 [Archived License] タブ ([License Management] ペイン) に表示されます。

#### アーカイブされたライセンスの復元

- 1. [Archived License] タブ ([License Management] ペイン) で、復元するアーカイブされたライセンスの製品を選択します。
- 2. 復元する機能を選択します。
- 3. [Restore] をクリックします。

[License Management] ペインにライセンスが再び表示され、クライアントユーザーからチェックアウト可能になります。

#### ライセンスの借用

- 1. [Borrow License] タブ ([License Management] ペイン) で、 ライセンスを借用 する製品を選択します。
- 2. [Borrow License] をクリックします。
- 3. [Borrow License] ページで、次の詳細を入力します。
  - ライセンスを借用する製品を選択
  - ライセンスを借用する機能IDとバージョンを選択
  - 借用するライセンスキャパシティ
  - 借用するライセンスの有効期限
  - サーバー情報。サーバー情報は次の方法で入力できます。
    - [Configure License Server]を選択し、別のAutoPass License Serverの[Host Name] または [IP]、[Port]、[Protocol]を入力します。
    - [Discover] AutoPass License Serverを選択し、サブネット上で利用可能なAutoPass License Serverを探します。

Borrow License	
	3
	Manage Borrowed Licenses
Select Product	NV Analytics - 12.5
Feature ID: Version	20468:1 *
Capacity	
Expiry Date	
Configure License Server	O Discover License Server
Host Name/IP	Port 5814 Protocol HTTPS
Borrow Back	

3. [Borrow] をクリックします。

借用されたライセンスキャパシティが [Manage Borrowed Licenses] ウィンドウ ([Borrow License] タブ) に表示され、[License Management] タブにリストされたライセンスキャパシティに追加されます。

#### 借用したライセンスの返却

- 1. [Borrow License] タブ ([License Management] タブ) で、 ライセンスを返却 する製品を選択します。
- 2. 返却するライセンスを選択します。
- 3. [Return] をクリックします。

ライセンスが元のAutoPass License Serverに返却され、借用されたキャパシティが、[Borrow License] タブの借用ライセンスのリストと、[License Management] タブから削除されます。

#### 借用履歴のクリア

- 1. [Borrow License] タブ ([License Management] ペイン) で、借用履歴を表示する製品を選択します。その製品の[Borrowed License] リストと[Checked-In History] リストが表示されます。
- 2. [Checked-In History] リストで、削除する履歴のチェックボックスをオンにします。
- 3. [Delete] をクリックします。

履歴の削除を確認するメッセージがウィンドウ上部に表示され、選択した履歴項目が借用履歴に表示されなくなります。

#### ライセンスのクリーンアップによるライセンスキャパシティの復元

- [License Clean Up] タブ ([License Management] ペイン) で、サポートチームから入手したライセン スクリーンアップキーを入力して、[Submit] をクリックします。
- [Clean Up] ウィンドウで、クリーンアップするライセンスチェックアウトを1つ以上選択して、[Clean Up] をクリックします。

**注**: 各ライセンスには、ライセンスのクリーンアップが可能なキャパシティの制限があります。ラ イセンスのクリーンアップに対する制限の設定方法については、各製品のドキュメントを参 照してください。

#### ライセンスのチェックインおよびチェックアウト履歴の検索

- 1. [License Usage] ペインで、[Search] Composition をクリックします。
- 2. [Search] ウィンドウで、検索基準を入力します。
- 3. [Search] をクリックします。

検索基準に一致するすべてのインストール済みライセンスが、[Search Results] ウィンドウに表示 されます。

#### ライセンスのチェックイン履歴のパージ

検索結果が[Search Results] ページに表示された後で、[Purge] をクリックします。

履歴がAutoPass License Serverから削除されます。

#### チェックアウトされたライセンスの取り消し

- 1. 検索を実行した後、[Search Results] ウィンドウ ([License Usage] ペイン) で、取り消すライセン スを選択します。
- 2. [Revoke] をクリックし、取り消しを確認します。

ライセンスがAutoPass License Serverに返却されます。

#### 機能ライセンスのコミューター設定の管理

- 1. [License Usage] ペインで、コミューターライセンス設定を管理する機能のチェックボックスをクリック して、[Manage Commuter]をクリックします。コミューターライセンス設定が正常に有効にされた ことを示すメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
- 2. その機能の[Feature Report] ページが開きます。

**注**:機能によっては、コミューターチェックアウト設定の変更が無効にされている場合があります。変更が可能なのは、機能のチェックボックスがオフで変更可能な場合に限ります。

- 2. [Commuter Checkout Settings] 領域で、[Edit] をクリックします。
- 3. 使用可能な最大日数と、コミューターライセンスのチェックアウトに使用可能な最大キャパシティ を入力します。
- 4. [Save Changes] をクリックします。

機能の[Commuter Checkout Settings] に変更が表示されます。

注:コミューターチェックアウト設定を変更するには、管理者アクセス権限が必要です。

#### AutoPass License Serverからのライセンスの削除

- 1. [Archived License] タブ ([License Management] ペイン) で、ライセンスを削除する製品を選択します。
- 2. 削除する機能を選択します。
- 3. [Delete] をクリックし、削除を確認します。

ライセンスがAutoPass License Serverから削除されます。

## リファレンス

## [License Usage] ペイン

このペインでは、インストール済みライセンスおよびライセンスキャパシティを表示できます。

License Usage	License Report						
License Management						<b>م</b>	?
Reservation Management	Select	Product	Select Product				
Remote Commuter		Feature ID: Version	Feature Description	Available	Live	Commuter	Total
	<b>V</b>	9504:1	HP License Server Test - Standard Edition	100	0	0	100
User Management	1	9506:1	HP License Server Test - Professional Edition	100	0	0	100
		9508:1	HP License Server Test - Enterprise Edition	100	0	0	100
Configuration	<b>V</b>	9510:1	HP License Server Test - Ultimate Edition	100	0	0	100
About	Mar	lage Commuter		4 items	found,	displaying all	l items.

アクセス方法	AutoPass License Serverのサイドバーで [ <b>License Usage</b> ] ノードを選択します。
重要な情報	<ul> <li>このペインに表示されるライセンスは、[License Management] タブ ([License Management] ペイン)に表示されるライセンスと同じです。詳細 については、「[License Management] タブ ([License Management] ペイン)」 (76ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>機能のコミューターチェックアウトが自動的に有効にされる場合、機能の チェックボックスはオンで、変更不可になります。</li> </ul>
	<ul> <li>機能のコミューターチェックアウトが自動的に無効にされる場合、機能の チェックボックスはオフで、変更不可になります。</li> </ul>
	<ul> <li>機能のコミューターライセンスチェックアウト設定が変更可能な場合、このペインのチェックボックスはオフで、変更可能になります。</li> </ul>
関連タスク	「ライセンスの管理方法」(65ページ)
参照情報	「ライセンス使用状況レポート」(61ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Feature ID: Version	ドロップダウンで選択された製品の各機能の機能番号とバージョン。
Feature Description	機能の説明のテキスト。

UI要素	
Available	クライアントユーザーが現在チェックアウトできるライセンスキャパシティ。
Live	ライブ (コンカレント) ライセンスとして現在チェックアウトされているライセンス キャパシティ。
Commuter	コミューターライセンスとして現在チェックアウトされているライセンスキャパシ ティ。
Total	インストール済みライセンスキャパシティの合計。
×	<b>Export to Excel (Excellこエクスポート)</b> :現在表示されているライセンス使用状況レポートをExcelファイルにエクスポートします。
Manage Commuter	オンにした場合、機能のコミューターチェックアウト設定を変更できます。
2	[Search] ウィンド ウを開き、チェックアウト およびチェックイン履歴を検索する ことができます。詳細については、「ライセンスチェックインおよび履歴の検 索」(62ページ) および「[Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)」 (72ページ)を参照してください。

### [Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)

このページでは、ライセンスチェックアウトレポートと、特定の機能の詳細を表示することができます。

Feature Report						
						?
Show Checked In Only 🗹						
Feature ID:Version 9510:1 Feature Description HP License Server Test - Ultimate Edition Minimum Capacity 5		Commuter Checkout Settings (edit) Maximum number of days allowed Maximum capacity allowed		2 1		
Start Date Expiry Date	License Type	Capacity	Client Info	Check Out By	Product	Pool
No items found to display.						

アクセス方法	[License Usage] ペインで、[ <b>Feature ID: Version</b> ] リンクをクリックして、特定の機能を選択します。
重要な情報	[Commuter Checkout Settings] 領域が設定可能なのは、機能のコミュー ターチェックアウト設定の変更が可能であり、[License Usage] ペインで、選 択した機能に対して [Manage Commuter] をクリックして設定の編集を有 効にした場合に限ります。
関連タスク	「ライセンスの管理方法」(65ページ)
参照情報	「ライセンス使用状況レポート」(61ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Show Checked In Only	オンの場合、チェックインされたライセンスだけが表示されます。オフの場合、 チェックアウトされたライセンスだけが表示されます。
Feature ID: Version	機能の番号とバージョン。
Feature Description	機能の説明のテキスト。
Minimum Capacity	クライアントユーザーがチェックアウト要求 でチェックアウト できる最小 キャパシ ティ。
Start Date	ライセンスのチェックアウトの開始日。
Expiry Date	ライセンスのチェックアウトの有効期限。
License Type	チェックアウトのタイプ: [Live] (コンカレントライセンス) または [Commuter]。
Capacity	クライアントユーザーからチェックアウトされたキャパシティ。
Client Info	ライセンスをチェックアウトしたユーザーのユーザー属性。[Click here] リンクを クリックすると詳細が表示されます。
Executed By	ライセンスをチェックアウトしたユーザー。[Click here] リンクをクリックすると詳 細が表示されます。
Product	選択した機能を含む製品。
Pool	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザーが属するユーザープール。
X	<b>Export to Excel (Excellこエクスポート)</b> :現在表示されているレポートを Excellこエクスポートします。
Commuter Checkout Settings	<ul> <li>機能ライセンスのコミューターチェックアウトに関する次の設定を選択できます。</li> <li>Maximum number of days allowed (指定可能な最大日数): この値は、機能の製品の説明に記述されているライセンスのタイプによって異なります。詳細については、各製品のドキュメントを参照してください。</li> <li>Maximum capacity allowed (使用可能な最大キャパシティ): デフォルト設定は [Available Capacity] であり、コミューターチェックアウトの際にすべての利用可能キャパシティがチェックアウトされます。各チェックアウトのキャパシティを制限するには、この値を変更します。</li> </ul>

## [Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)

iearch			
Select Product	Select Product		
Feature ID			
Feature ID: Version			
Feature Description			
IP Address			
Host Name			
User Name			
Client ID			
Start Date			
Expiry Date			
Search Back	1		
Back			

このページでは、インストール済みライセンスを検索する基準を設定します。

アクセス方法	[License Usage] ペインで、[Search] ボタン pをクリックします。
重要な情報	[IP Address]、[Host Name]、[User Name]、[Client ID] の検索可能オプ ションは、[Pool Management] タブ ([Reservation Management] タブ) にリストさ れているユーザープール属性と同じである必要があります。
関連タスク	「ライセンスのチェックインおよびチェックアウト履歴の検索」(67ページ)
参照情報	・「[License Usage] ペイン」(69ページ)
	・「[Search Results] ページ ([License Usage] ペイン)」(73ページ)
	• 「ライセンスチェックインおよび履歴の検索」(62ページ)
	・「プールのユーザーリストセクション ([Pool Management] タブ)」(101ページ)
	• 「クライアントユーザー属性」(89ページ)

#### ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Feature ID	機能の番号。
Feature ID: Version	機能のバージョン番号 (機能IDなし)。
UI要素	説明
------------------------	---
Feature Description	機能の説明のテキスト。このフィールドは、機能番号を覚えられない場合 に使用できます。
IP Address	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザーのIPアドレス。
Host Name	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザーのホストアドレス。
User Name	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザーのユーザー名。
Client ID	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザーのコンピューターID。
Start Date	ライセンスのチェックアウトの開始日。
Expiry Date	ライセンスのチェックアウトの有効期限。

## [Search Results] ページ ([License Usage] ペイン)

このページには、指定した検索基準に該当するライセンスが表示されます。

Sear	ch Result							
							Q	?
	Feature Description	Start Date	Expiry Date	License Type	Capacity	Client Info	Product	Pool
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 13:48:40	2 Dec 12 13:48:40	Commuter	10	Click here	HP-APLS 4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 13:48:29	2 Dec 12 13:48:29	Commuter	10	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 13:47:38	2 Dec 12 13:47:38	Commuter	10	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 13:47:02	2 Dec 12 13:47:02	Commuter	10	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:43:44	12 Nov 12 11:43:44	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:42:11	12 Nov 12 11:42:11	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:25:39	12 Nov 12 11:25:39	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:25:37	12 Nov 12 11:25:37	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:25:27	12 Nov 12 11:25:27	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
	HP License Server Test - Ultimate Edition	7 Nov 12 11:25:27	12 Nov 12 11:25:27	Commuter	5	Click here	HP-APLS_4.0	
$\mathbf{\Xi}$					) <b> </b>	12 items fou	und, displaying 1	to 10.
Ba	Back Email This Report - Send Mail							

アクセス方法	検索 パラメーターを定義した後、[Search] ウィンドウで [ <b>Search</b> ] をクリックします。
関連タスク	• 「ライセンスのチェックインおよびチェックアウト履歴の検索」(67ページ)
	• 「ライセンスのチェックイン履歴のパージ」(67ページ)
	•「チェックアウトされたライセンスの取り消し」(68ページ)
参照情報	・「[Search Criteria] ページ ([License Usage] ペイン)」(72ページ)
	•「ライセンスチェックインおよび履歴の検索」(62ページ)

UI要素	。 説明
Feature Description	検索結果として返されたライセンスの説明のテキスト。
Start Date	ライセンスのチェックアウトの開始日。
Expiry Date	ライセンスのチェックアウトの有効期限。
License Type	ライセンスチェックアウトのタイプ: [Live] または [Commuter]。
Capacity	ライセンスからチェックアウトされたキャパシティ。
Client Info	ライセンスをチェックアウトしたクライアントユーザー。
	[Click here] をクリックすると、チェックアウトのクライアントユーザー属性が 表示されます。
Executed By	チェックインおよびチェックアウト操作を実行したユーザー。
	[Click here] をクリックすると、チェックアウトの詳細が表示されます。
Product	製品が属する製品。
Pool	チェックアウトを実行したクライアントユーザーが属するユーザープール。
	<b>Export to Excel (Excellこエクスポート)</b> : 現在表示されているレポートを Excellこエクスポートします。
Purge	AutoPass License Serverから履歴を削除します。
Revoke	選択したライセンスをAutoPass License Serverに自動的にチェックイン します。

# [Install License] タブ ([License Management] ペイン)

このタブでは、製品のライセンスをインストールできます。

Install License	License Management	Archived License	Borrow License	License Clean Up				
Install License								
1. Please Enter	/Browse License file	2. Install License						
Enter Licens	e Keys							
Browse Licer	nses File							
				Browse				
Next Cance	el							

アクセス方法	[License Management] ペイン>[Install License] タブ
重要な情報	ライセンスキーファイルは、4 MBを超えることはできません。
関連タスク	「ライセンスのインストール」(65ページ)
参照情報	「ライセンスのインストール」(61ページ)

UI要素	説明
Enter license	インストールする単独のライセンスキーまたはライセンスキーのグループを入
keys	力します。
Browse Licenses	インストールするライセンスキーを含むライセンスキーファイルを参照してアップ
File	ロードできます。

## [License Management] タブ ([License Management] ペイン)

このタブには、すべてのインストール済みライセンスの情報が表示され、ライセンスをアーカイブすることができます。

License Licens	e Management	Archive	d License 👘 Borrow I	License 👘 License Clea	an Up			
License Management								
							2	
							•	
Product	Sele	ct Product		-				
Feature ID: Version	Product	Capacity	Start Date	Expiry Date	Installed On	Installed By	IP Address	
70002:X	HP-APLS	1	20 Oct 12 23:59:59	19 Apr 13 16:55:11	21 Oct 12 22:42:01	admin	*.*.*.*	
9504:1	HP-APLS	100	2 Apr 12 06:31:59	Forever	21 Oct 12 22:46:10	admin	16.*.*.*	
9506:1	HP-APLS	100	2 Apr 12 07:32:59	Forever	21 Oct 12 22:46:10	admin	16.*.*.*	
9508:1	HP-APLS	100	2 Apr 12 09:34:59	Forever	21 Oct 12 22:46:10	admin	16.*.*.*	
9510:1	HP-APLS	100	2 Apr 12 08:33:59	Forever	21 Oct 12 22:46:10	admin	16.*.*.*	
-					5 itoms	found display	ing all itama	
Archive								
	License License a Management Feature ID: Version 70002:X 9504:1 9506:1 9508:1 9510:1 we	License License Management a Management  Product  Feature ID: Version Product  70002:X HP-APLS 9504:1 HP-APLS 9506:1 HP-APLS 9510:1 HP-APLS 9510:1 HP-APLS	License     License Management     Archive       a Management     Select Product     Select Product       Feature ID: Version     Product     Capacity       70002:X     HP-APLS     1       9506:1     HP-APLS     100       9508:1     HP-APLS     100       9510:1     HP-APLS     100	License         License         Management         Archived License         Borrow I           a Management         Select Product         Select Product         Feature ID: Version         Product         Capacity         Start Date           70002:X         HP-APLS         1         20 Oct 12 23:59:59         9504:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 06:31:59           9506:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 07:32:59         9508:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 08:33:59           9510:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 08:33:59         33:59         34:59	License       License       Management       Archived License       Borrow License       License Cleater         e Management       Select Product       Select Product       Image: Cleater       Ima	License         License         Management         Archived License         Borrow License         License         Clean Up           e Management         e Management         Select Product         Image: Clean Up         I	License         License         Borrow License         License         Clean Up           e Management         Archived License         Borrow License         License Clean Up           Product         Select Product         Image: Clean Up         Image: Clean Up           Feature ID: Version         Product         Capacity         Start Date         Expiry Date         Installed On         Installed By           70002:X         HP-APLS         1         20 Oct 12 23:59:59         19 Apr 13 16:55:11         21 Oct 12 22:46:10         admin           9504:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 06:31:59         Forever         21 Oct 12 22:46:10         admin           9506:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 07:32:59         Forever         21 Oct 12 22:46:10         admin           9508:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 09:34:59         Forever         21 Oct 12 22:46:10         admin           9510:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 08:33:59         Forever         21 Oct 12 22:46:10         admin           9510:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 08:33:59         Forever         21 Oct 12 22:46:10         admin           9510:1         HP-APLS         100         2 Apr 12 08:33:59	

アクセス方法	[License Management] ペイン>[License Management] タブ
関連タスク	「ライセンスの管理方法」(65ページ)
参照情報	「ライセンスのアーカイブと復元」(63ページ)

UI要素	説明
Feature ID: Version	機能の番号とそのバージョン番号。
Product	機能が属する製品。
Capacity	各インストール済みライセンスの合計インストール済みキャパシティ。
Start Date	インストール済みライセンスの開始日。
Expiry Date	インストール済みライセンスの有効期限。
Installed On	インストール済みライセンスのインストール日。
Installed By	ライセンスをインストールしたAutoPass License Serverユーザーの名前。
IP Address	ライセンスをインストールしたユーザーのIPアドレス。

UI要素	説明
X	<b>Export to Excel (Excellニエクスポート)</b> : 現在表示されているレポートを Excellニエクスポートします。
X	<b>Export Raw License to Excel (表示ライセンスキーをExcellこエクスポート):</b> 現在表示されているライセンスのライセンスキーをExcellこエクスポートしま す。
Archive	選択したライセンスをアーカイブします。

# [Archive License] タブ ([License Management] ペイン)

このタブには、アーカイブされたすべてのライセンスのリストが表示され、アーカイブされたライセンスをアクティブに使用できる状態に戻したり、永久的に削除したりすることができます。

Install License License Management Archived License Borrow License License Clean Up					ise Clean Up				
Archived License									
								?	
Select	Select Product								
	Feature ID	): Version	Product	Capacity	Start Date	Expiry Da	te Installed On	Installed By	IP Address
	950	4:1	HP-APLS	100	2 Apr 12 06:31:59	9 Forever	21 Oct 12 22:46:10	) admin	16.*.*.*
Res	tore Del	ete							1 item found.

アクセス方法	[License Management] ペイン > [Archived Licenses] タブ
重要な情報	有効期限を過ぎたライセンスは回復できません。
関連タスク	「アーカイブされたライセンスの復元」(66ページ)
参照情報	「ライセンスのアーカイブと復元」(63ページ)

ユーザーインターフェイス要素は、[License Management] タブに表示されるものと同じです。詳細については、「[License Management] タブ ([License Management] ペイン)」(76ページ) を参照してください。

# [Borrow License] タブ ([License Management] ペイン)

このタブには、借用されたすべてのライセンスと借用履歴が表示され、他のAutoPass License Server からライセンスを借用することができます。

anaye bun	owed Licenses				
Select Produc	t	HP AutoPass License Ser	er - Test Product 1 *		Borrow License
Borrowed Lic	ense List				
	Feature ID: Version	Capacity	Start Date	Expiry Date	Borrowed From
	9504:1	10	25 Oct 12 14:46:52	27 Oct 12 14:46:52	
	9506:1	10	25 Oct 12 14:47:31	26 Oct 12 14:47:31	
Return					
Return hecked-In Hi	story				
Return necked-In Hi	story Feature ID: Version	Capacity	Start Date	Expiry Date	Borrowed From
Return hecked-In Hi	story Feature ID: Version 9504-1	Capacity 10	Start Date 25 Oct 12 14/48/27	Expliny Date 27 Oct 12 14.48.27	Borrowed From

アクセス方法	[License Management] ペイン>[Borrow License] タブ
関連タスク	・「ライセンスの借用」(66ページ)
	•「借用したライセンスの返却」(67ページ)
	• 「借用履歴のクリア」(67ページ)
参照情報	・「ライセンスの借用」(63ページ)
	・「[Borrow License Request] ウィンドウ ([Borrow License] タブ)」 (80ページ)

UI要素	
Feature ID: Version	機能の番号とバージョン。
Capacity	選択した機能に関して別のAutoPass License Serverから借用されたキャパ シティ。
Start Date	ライセンスの借用が開始される日付。
Expiry Date	ライセンスの借用が終了する日付。
Borrowed From	借用されるライセンスを持つAutoPass License Server。

UI要素	説明
X	<b>Export to Excel (Excel/ニエクスポート)</b> :現在表示されているレポートを ([Borrowed License List] または [Checked-In History List] から) Excel/ニエクス ポートします。
Borrow License	[Borrow License] ウィンドウを開き、借用できるライセンスを持っている AutoPass License Serverを検索することができます。詳細については、 「[Borrow License Request] ウィンドウ ([Borrow License] タブ)」(80ページ)を参 照してください。

### [Borrow License Request] ウィンドウ ([Borrow License] タ ブ)

このウィンド ウでは、他のAutoPass License Serverからライセンスを借用することができます。

Borrow License	
	?
	Manage Borrowed Licenses
Select Product	NV Analytics - 12.5 v
Feature ID: Version	20468:1 *
Capacity	
Expiry Date	
Configure License Server	O Discover License Server
Host Name/IP	Port 5814 Protocol HTTPS
Borrow Back	

アクセス方法	[Borrow License] タブで、[ <b>Borrow License</b> ] リンクをクリックしま す。
関連タスク	「ライセンスの借用」(66ページ)
参照情報	<ul> <li>「ライセンスの借用」(63ページ)</li> <li>「[Borrow License] タブ ([License Management] ペイン)」(78 ページ)</li> </ul>

UI要素	説明
Select Product	ライセンスを借用する製品。
Feature ID: Version	ライセンスを借用する機能。
Capacity	借用するキャパシティ。
Expiry Date	借用要求が終了する日付。
Configure License Server	借用するライセンスを持っているAutoPass License Serverに関す る詳細を入力します。
	接続を設定するには、次の情報を入力します。
	<ul> <li>貸し出しサーバーのホスト名 ([Host Name]) またはIPアドレス ([IP])</li> </ul>
	• 貸し出しサーバーのポート ([ <b>Port</b> ])
	• 接続プロトコル: [HTTP] または [HTTPS]

UI要素	説明
Discover License Server	同じサブネット上の他のAutoPass License Serverを選択できます。 リストからAutoPass License Serverを選択します。
	リストを更新するには、[Discover Again]をクリックします。
Borrow	借用要求を完了します。
Manage Borrowed Licenses	[Managed Borrowed Licenses] ウィンドウに戻ります。 このウィンドウ には、借用されたライセンスのリストとチェックイン履歴が表示され ます。

# [License Clean Up] タブ ([License Management] ペイン)

このタブでは、ライセンスのクリーンアップを実行して、失われたライセンスキャパシティを回復することができます。

License Clean Up	
	?
1. Please Enter Clean Up License Key 2. Clean Up Process	
Submit Reset	

アクセス方法	[License Management] ペイン>[License Clean Up] タブ
重要な情報	ライセンスのクリーンアップを実行するには、ライセンスクリーンアップキーが必要 です。キーを入手するには、お客様サポートに連絡してください。
関連タスク	「ライセンスのクリーンアップによるライセンスキャパシティの復元」(67ページ)
参照情報	「ライセンスのクリーンアップ」(64ページ)

UI要素	説明
Please Enter Clean Up License Key	サポートから入手したライセンスクリーンアップキーを入力します。

# ライセンス管理 - よくある質問

ここでは、AutoPass License Serverのライセンスの管理に関するよくある質問と回答を紹介します。

# ライセンスがチェックアウトされているすべてのユーザーのレポートはどこで見ることができますか。

[License Usage] ペインで、[Feature ID: Version] リンクをクリックして、その機能ライセンスに対する 機能レポートを開きます。機能レポートには、選択した機能ライセンスの使用状況の情報が表示さ れます。詳細については、「[Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)」(70ページ)を参照して ください。

#### ライセンスの現在使用されているライセンスキャパシティのサマリーはどうすれば見るこ とができますか。

[License Usage] ペインで、利用可能なライセンスキャパシティが [Available] に、現在チェックアウトされているライブキャパシティが [Live] に、現在チェックアウトされているコミューターライセンスキャパシティが [Commuter] に表示されます。

#### [License Usage] ペインで機能の合計キャパシティが増えるのはなぜですか。

機能のキャパシティが増える場合、次のいずれかの理由が考えられます。

- 新規ライセンスがインストールされた。
- 他のAutoPass License Serverから機能のキャパシティが借用された。

#### [License Usage] ペインで機能の合計キャパシティが減るのはなぜですか。

機能のキャパシティが減る場合、次のいずれかの理由が考えられます。

- 機能のライセンスがアーカイブされた。
- 機能のライセンスが有効期限を過ぎた。
- 借用したライセンスが元のAutoPass License Serverに返却された。

#### リスト内の一部のライセンスの [Pool] フィールドが空白なのはなぜですか。

空白のフィールドは、ライセンスをチェックアウトしたユーザーが現在どのユーザープールにも属していないことを示します。 ユーザープールの詳細については、「AutoPass License Serverのクライアントユーザープール」(90ページ)を参照してください。

#### ライセンスのチェックイン履歴をパージするにはどうすればよいですか。

ライセンス操作履歴は、次の方法でパージ(永久的に削除)することができます。

- [Search] ページでレコードを検索して、手動で削除します。
- [Main Configuration] ページでパージ設定を指定します。詳細については、「[Main] 設定タブ ([Configuration] ペイン)」(21ページ)を参照してください。

#### クライアントユーザーによるライセンスの悪用を防ぐには、管理者はどうすればよいで すか。

管理者または製品管理者は、ライセンスに対して [Revoke] オプションを使用することにより、悪用されたライセンスを強制的にチェックインすることができます。

#### 有 効 期 限 内 のアーカイブされたライセンスをアクティブに戻 すにはどうすればよいです か。

[Archive License] タブ ([License Management] ペイン)の下で、アクティブに戻 すライセンスを選択して、[Reuse] を選択します。

#### クライアントユーザーは、時刻が改ざんされたAutoPass License Serverにライセン スをチェックインすることはできますか。

はい。

システムの時刻が過去に戻された後で、正しい時刻に修正された場合、ライセンスキャパシティを回復するにはどうすればよいですか。

AutoPass License Serverを再起動すると、ライセンスキャパシティが回復されます。

#### システムの時刻が過去に戻されたときに、ライセンスキャパシティが0と表示されるの はなぜですか。

AutoPass License Serverは、システムの時刻が過去に戻されると、機能のキャパシティがブロックされ るように設定されています。 ライセンスキャパシティを回復するには、 ライセンスのクリーンアップを実行し てから、 AutoPass License Serverを再起動します。

ただし、AutoPass License Serverに知られている日付以外の未来の日付にシステムがリセットされた場合は、機能のライセンスキャパシティは自動的に回復されます。

#### ライセンスをAutoPass License Serverから永久的に削除するにはどうすればよい ですか。

ライセンスを削除するには、まずアーカイブする必要があります。 ライセンスをアーカイブしたら、 [Archived Licenses] タブ ([License Management] ペイン) で [**Delete**] をクリックすると、 ライセンスは AutoPass License Serverから削除されます。

#### ライセンスを含む.datファイルを受け取った場合、ライセンスをAutoPass License Serverにインストールできますか

はい。[Install License] タブ ([License Management] ペイン) で、[Browse License File] オプションを選択します。ライセンスファイルがあるディレクトリを参照して、そのファイルからライセンスをインストールします。

注: ライセンスキーファイルは、4 MBを超えることはできません。

#### 以前にアーカイブしたライセンスを、アクティブに使用可能な状態に戻すことはできま すか。

はい。[Archive License] タブ ([License Management] ペイン) の下 で、回 復 するライセンスを選 択し て、[**Restore**] を選 択します。[License Management] タブ ([License Management] ペイン) のライセン スのリストにライセンスが追加され、クライアントユーザーはこのライセンスからライセンスキャパシティを チェックアウトできます。

#### ライセンスを借用するには、他のAutoPass License Serverの詳細を知る必要が ありますか。

いいえ。[Borrow License] ウィンドウ ([Borrow License] タブ) で [**Discover License Server**] をクリック して、サブネット上で利用可能なAutoPass License Serverを検索することができます。

#### 借用したライセンスを、借用要求の有効期限前に返却するにはどうすればよいです か。

[Borrow License] タブで、返却するライセンスを [Borrowed Licenses] リストから選択し、[Return] をクリックします。

# 借用要求を実行する際には、借用するライセンスキャパシティを指定する必要がありますか。

はい。

#### ライセンスのクリーンアップ用のキーを入手するにはどうすればよいですか。

ライセンスクリーンアップキーを入手するには、サポートチームに連絡してください。

# ライセンス管理 - トラブルシューティングと制限事項

ここでは、AutoPass License Serverのライセンスの管理で生じる問題のトラブルシューティングに役立つ、よくある質問と回答を紹介します。

AutoPass License Serverにライセンスをインストールした後で、[License Usage] ペインにライセンスの詳細が表示されないのはなぜですか。

製品がまだAutoPass License Serverで設定されていません。ライブチェックアウトを実行して製品を 設定し、機能に対する機能レポートを表示します。

#### ライセンスをチェックアウトできないのはなぜですか。

クライアントユーザーがライセンスをチェックアウトできない場合、次のいずれかの理由が考えられます。

- クライアントが属するユーザープールがブロックされている。詳細については、「ユーザープールの制限またはブロック」(93ページ)を参照してください。
- クライアントユーザーが属するユーザープールが制限されており、要求されたキャパシティがそのプールで利用可能でない。
- 要求されたキャパシティがその機能に対して利用可能でない。

# ライセンスをインストールする際に「Lock Type not supported」というメッセージが表示されるのはなぜですか。

このエラーメッセージは、インストールされているライセンスキーが、特定のIPアドレス範囲にロックされていることを示します。たとえば、ライセンスがIP範囲16.\*.\*.\*にロックされている場合、IPアドレスが15.1.1.1のAutoPass License Serverにインストールすることはできません。

#### ライセンスをアーカイブできないのはなぜですか。

ライセンスをアーカイブするには、その機能のチェックアウトされたライセンスがすべて返却されている必要があります。

#### [Revoke] オプションが表示されないのはなぜですか。

[**Revoke**] オプションは、現在チェックアウトされている有効なライブライセンスが存在する場合のみ表示されます。

# ライセンスのクリーンアップを実行しても、 一部のライセンスキャパシティが回復されません。 これはなぜでしょうか。

製品または機能には、ライセンスクリーンアップに関してそれぞれ固有の制限があります。この制限 は、ライセンスキーファイルに設定されています。

# 第9章: クライアントユーザーの管理

本章の内容

#### 概念

- 「Autopass License Serverのクライアントユーザー-概要」(88ページ)
- •「クライアントユーザー属性」(89ページ)
- 「AutoPass License Serverのクライアントユーザープール」(90ページ)
- 「ライセンス予約の優先度」(92ページ)
- 「機能ベースと製品ベースの予約」(92ページ)
- 「ユーザープールの制限またはブロック」(93ページ)

#### タスク

• 「クライアントユーザーアクセスの管理方法」(95ページ)

#### リファレンス

- 「[Pool Management] タブ」(99ページ)
- ・「プールのユーザーリストセクション ([Pool Management] タブ)」(101ページ)
- 「[Pool to Product Mapping] リスト ([Pool Management] タブ)」(102ページ)
- 「[Featured-Based Reservation]/[Product-Based Reservation] タブ」(103ページ)

「クライアントユーザーの管理 - よくある質問」(107ページ)

「クライアントユーザーの管理 - トラブルシューティングと制限事項」(109ページ)

# 概念

### Autopass License Serverのクライアントユーザー - 概要

ライセンスの使用とインストールのためにAutoPass License Serverを設定した後、AutoPass License Serverにアクセスできるクライアントユーザーのリストを作成する必要があります。 クライアントユーザー<sup>1</sup> とは、ローカルソフトウェアインストールを通じてAutoPass License Serverにアクセスするローカルユー ザーです。

クライアントユーザーがソフトウェアのローカルコピーを起動すると、ソフトウェアのライセンスメカニズムがラ イセンスのチェックアウト要求をAutoPass License Serverに送信します。 AutoPass License Server は、入力され、ユーザーのプロファイルにリンクされた固有の属性によって、ユーザーを識別します。 詳 細については、「クライアントユーザー属性」(89ページ)を参照してください。

ユーザーの詳細と設定に応じて、AutoPass License Serverはクライアントユーザーに対して適切なラ イセンスを探してチェックアウトします。各種ライセンスへのユーザーアクセスの詳細については、 「AutoPass License Serverのクライアントユーザープール」(90ページ)を参照してください。

クライアントユーザーに対して、特定のソフトウェアプログラムの全機能へのアクセスを可能にするか、ラ イセンスのチェックアウトが可能な機能を制限することができます。さらに、クライアントユーザーからライ センスへのアクセスまたはチェックアウトを制限または禁止することもできます。詳細については、「ユー ザープールの制限またはブロック」(93ページ)を参照してください。

#### 例

製品Aでは、Web、.NET、Java、標準Windows、Oracleなど、特定の環境をロードするように 選択できます。これに加えて、製品Aは欠陥追跡プログラム(製品B)と組み合わせて販売され ています。したがって、製品Bと製品Aを組み合わせるライセンスを使用することも、単に製品Aを スタンドアロンのアプリケーションとして実行することもできます。

AutoPass License Serverにインストールされた製品Aに対して、いくつかのライセンスがあります。 ー部のライセンスでは製品Aの全機能への完全なアクセスが可能であり、その他のライセンスで は、Web、.NET、Java、標準Windows、Oracleの各環境に固有の機能だけを使用できます。 さらに、製品Bにアクセス可能な製品Aのための追加ライセンスもあります。

クライアントユーザーがAutopass License Serverにアクセスすると、適切なライセンスがチェックアウトされます。ユーザープールの構成に応じて、AutoPass License Serverは、製品Aの全機能に対するライセンス、特定の製品A環境、または製品A/製品Bの共通機能のライセンスをチェックアウトします。

クライアントユーザーのコンピューター上 でセッションまたはライセンスの有効期限が終了 すると、ライセンスはクライアントコンピューターから削除され、自動的にAutoPass License Serverにチェックインされます。 クライアントユーザーに対してチェックアウトされたライセンスの有効期限が切れた場合、 クライアントユーザーはライセンスをチェックインすることができません。

<sup>1</sup>Autopass License Serverにアクセスして、ローカルプログラムインストール用のライセンスをチェックイン またはチェックアウトするローカルユーザー。

### クライアントユーザー属性

クライアントユーザーがAutoPass License Serverに要求を送信する場合、ユーザーはクライアントユー ザー属性<sup>1</sup>によって認識されます。これらの属性は、AutoPass License Serverにアクセスしようとして いるクライアントの同一性を確認するためのもので、ローカルプログラムによるライセンスのチェックインを 可能にします。

AutoPass License Serverは、クライアントユーザーを複数の属性で識別できます。

- User name: 個 々 のユーザーに割り当 てられる識 別 可 能 な名 前
- IP Address: クライアントユーザーのコンピューターのIPアドレス、またはクライアントユーザーのグ ループがAutoPass License Serverに接続するためにアクセスする共通 IPアドレス
- Host ID: クライアントユーザーのコンピューターのホストアドレス、またはクライアントユーザーのグルー プ内 で共有される共通のホストアドレス
- Client ID: クライアントマシンに固有の識別番号

クライアントユーザーがAutoPass License Serverにアクセスすると、AutoPass License Serverは、クラ イアントユーザーの情報を、AutoPass License Serverのユーザー管理システムに保存されているクラ イアントユーザーの属性と比較します。クライアントユーザーのコンピューターの詳細が属性と一致する 場合、AutoPass License Serverは要求を実行したクライアントユーザーにライセンスをチェックアウトし ます。クライアントユーザーの詳細が1つでも、AutoPass License Serverに記録されている属性と一致 しなかった場合 (単にクライアントユーザーの最初の作成時にその属性が入力されていなかった場合 を含めて)、AutoPass License Serverはクライアントユーザーによるライセンスのチェックアウトを拒否し ます。

各 クライアントユーザーのすべての詳細の入力は必須ではありません。ただし、各 クライアントユーザー に対して使用可能なすべての詳細を入力することをお勧めします。

例

4人のユーザーに対して次の属性が記録されています。

User Name	IP Address	Host ID	Client ID
User1	192.168.12.54	pool1.host.com	5245rc9e56g648f6
User2	192.168.1.86		4532rac4df15f635
User3	172.31.255.1		
User4	172.20.84.6		

ここで、Autopass License Serverにアクセスしようとしたクライアントユーザーの属性が、User Name: User 1、Host ID: pool2.host.com、IP Address: 192.168.1.86、Client ID: 4532rac4df15f635だった場合、このクライアントの要求は拒否されます。Host ID:

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>各 ユーザーに対して入力された詳細。詳細には、クライアントユーザーのユーザー名、IPアドレス、ホ ストID、クライアントIDなどが含まれます。

pool2.host.comは属性リストに含まれていないので、このクライアントは利用可能なライセンスに アクセスできません。

### AutoPass License Serverのクライアントユーザープール

クライアントユーザーがライセンスにアクセスしてチェックアウトするには、各クライアントユーザーがユー ザープール<sup>1</sup>に割り当てられている必要があります。

ユーザープールを作成することで、特定の機能のユーザー、特定の製品のユーザー、共通の属性を 持つユーザーなど、さまざまな方法でクライアントユーザーを分類して管理することができます。 クライア ントユーザーは、複数のユーザープールに割り当てることができます。

さらに、特定の製品に関連付けられたユーザープールに属するクライアントユーザーは、未割り当てライセンスのSharedプールに自動的にアクセスできます。

ライセンスへのアクセスは、クライアントユーザー単位でなく、ユーザープール単位で定義されます。プー ルのユーザーがチェックアウトできるライセンスキャパシティを(特定の製品機能または特定の製品に対 して)割り当てます。また、ユーザープールによるチェックアウト操作を制限したり、特定のプールによる すべてのチェックアウト操作をブロックしたりすることもできます。ユーザープールの制限またはブロックの 詳細については、「ユーザープールの制限またはブロック」(93ページ)を参照してください。

ユーザープールの作成とユーザープールへのライセンス割り当ての詳細については、「クライアントユー ザーアクセスの管理方法」(95ページ)を参照してください。

### ユーザープールごとのライセンス使用

ユーザープールを作成した後、各ユーザープールに一定量のライセンスキャパシティを予約することができます。これは、[Feature-Based] および [Product-Based] 予約タブで実行します。詳細については、「[Featured-Based Reservation]/[Product-Based Reservation] タブ」(103ページ)を参照してください。

各プールに割り当てるライセンスキャパシティの量は、AutoPass License Server管理者または製品 管理者が決定します。予約キャパシティは、現在利用可能なインストール済みキャパシティを超えて もかまいません。ただし、クライアントユーザーからのライセンス要求が、機能または製品のインストール 済みキャパシティを超える場合は(ユーザープールの予約キャパシティに達していなくても)、要求は満 たされません。

要求が満たされるためには、追加ライセンスをインストールするか、別のAutoPass License Serverから ライセンスを借用する必要があります。追加ライセンスのインストールの詳細については、「ライセンス のインストール」(61ページ)を参照してください。ライセンスの借用の詳細については、「ライセンスの借 用」(63ページ)を参照してください。

各プールにライセンスキャパシティを割り当 てると、そのプール内 のユーザーからチェックアウト 可 能なライ センスキャパシティが制 限されます。 クライアント ユーザーからのライセンス要 求 がプールの予 約 キャパシ ティを超える場 合 、要 求 は満 たされません。

注: クライアントユーザーが別のユーザープールにも含まれる場合、AutoPass License Serverは

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>Autopass License Server管理者による定義に基づいて、特定のライセンスへのアクセス権を与えられるクライアントユーザーのグループ。

別のユーザープールも (優先度に基づいて) 確認し、チェックアウト要求を満たすためのキャパシ ティが別のプールに存在するかどうかを調べます。詳細については、「ライセンス予約の優先度」 (92ページ)を参照してください。

ユーザーの要求がプールの予約キャパシティを超える場合、AutoPass License Serverは、ユーザー プールのキャパシティとSharedプールの利用可能キャパシティを組み合わせて要求を満たすこともでき ます。AutoPass License Serverは、複数のユーザープールの利用可能キャパシティを組み合わせて チェックアウト要求を満たすことはありません。

注:制限付きプールとSharedプールを組み合わせてユーザーの要求を満たすことはできません。

また、利用可能なインストール済みキャパシティは、優先度にかかわらず、先着順で消費されます。 最初の要求が優先度の低いプールから来た場合でも、要求は満たされます。

#### 例

この例では3つのユーザープールがあり、機能の利用可能キャパシティは150です。その詳細を次に示します。

プール名	予約キャパシティ	制限/ブロック	インストール済みキャパシティ
Pool1	100	なし	330
Pool2	50	なし	
Pool3	30	なし	
Shared	200	該当なし	

#### 使用例1

Pool3のクライアントユーザーが、キャパシティ30のチェックアウト要求を行います。Pool3はリストで3 番目のプールですが、この要求は満たされます。

#### 使用例2

Pool1のクライアントユーザーが、キャパシティ150のチェックアウト要求を行います。Pool1の予約 キャパシティはこの要求を満たすのに不十分なので、AutoPass License Serverは、Pool1の利 用可能キャパシティとSharedプールの利用可能キャパシティを組み合わせて、チェックアウト要求 を満たします。

#### 使用例3

Pool2のクライアントユーザーが、キャパシティ300のチェックアウト要求を行います。通常なら、 AutoPass License Serverは、Pool2の利用可能キャパシティ50と、Sharedプールの利用可能 キャパシティを組み合わせて、要求を満たします。ただし、この要求は組み合わせ後のキャパシ ティの250 (Pool2とSharedプール)を超えているので、追加ライセンスをインストールするか借用し ない限り、要求は満たされません。

## ライセンス予約の優先度

ユーザープールを作成した後、ユーザープールがライセンスにアクセスする際の優先度を設定すること ができます。 クライアントユーザーが複数のプールに属する場合、ライセンス要求を満たす際に、優先 度の高いユーザープールから順に利用可能キャパシティが取得されます。また、ユーザープールが チェックアウトのためにライセンスにアクセスする順序も、優先度によって決まります。

各機能に対する優先度を設定するには、[Feature-Based Reservation] または [Product-Based Reservation] タブで、各機能または製品に対応するリスト内のユーザープールをドラッグします。

#### 例

次の例では、図に示すように、Pool2とPool3の2つのクライアントユーザープール(優先度の順) と、Sharedプールがあります。

Selected Feature :9504:1 Available Capacity: 100 Total Capacity: 100					
	Allow/Block	Pool Name	Reserved Capacity		
<b>V</b>	Block	Pool2	25		
<b>V</b>	Block	Pool3	50		
1		Shared	25		
		Total	100		

#### 使用例1

クライアントユーザーはPool2とPool3の両方に属します。クライアントユーザーがキャパシティ10の チェックアウト要求を送信した場合、AutoPass License Serverは、優先度に基づいて、Pool2か らチェックアウト要求を満たそうとします。

#### 使用例2

クライアントユーザーはPool2とPool3の両方に属します。クライアントユーザーがキャパシティ60の 要求を送信した場合、AutoPass License Serverは、まずPool2の利用可能キャパシティを確認 して、要求を満たそうとします。このシナリオでは、Pool2とPool3に十分なキャパシティがないの で、優先度の高いPool3とSharedプールを組み合わせることで、ライセンス要求が満たされます。

### 機能ベースと製品ベースの予約

ユーザープールに対してライセンスを予約する場合、2つの方法でライセンスを割り当てることができます。

- 機能ベースの予約: このタイプの予約では、製品の特定の機能に対してのみライセンスが使用可能になります。機能ベースのライセンスを持つユーザーは、その他の製品機能を使用できません。
- 製品ベースの予約: このタイプのライセンスを持つクライアントユーザーは、製品のすべての機能に アクセスできます。

機能の使用可能キャパシティは、製品に対して予約されたキャパシティに依存します。たとえば、1つのユーザープールで製品Aに対してキャパシティ50を予約した場合、製品Aのすべての機能について、そのユーザープールのメンバーからキャパシティ50のチェックアウトが可能です。

製品自体に対して予約されたのと同じキャパシティを、製品のすべての機能に対して予約する必要 はありません。すなわち、ユーザープールで製品Aに対してキャパシティ50が予約されている場合でも、 製品Aの機能1に対して、そのユーザープールでキャパシティ40を予約することができます。

たとえば、クライアントユーザーが製品の特定の環境または構成だけにアクセスできるようにするには、 機能ベースの予約を使用してライセンスを予約します。 クライアントユーザーが製品の全機能にアク セスできるようにするには、製品ベースの予約を使用します。

製品内の機能の機能ベースの予約への割り当ては、製品単位で行われます。 ライセンスタイプと製品へのライセンス割り当ての詳細については、各製品のドキュメントを参照してください。

### ユーザープールの制限またはブロック

チェックアウト可能なライセンスキャパシティの制限に加えて、ユーザープールによるチェックアウト操作の実行を制限またはブロックすることもできます。

ユーザープールを制限<sup>1</sup>した場合、ユーザープールによってチェックアウト可能なライセンスが、プールの 予約キャパシティに制限されます。 プールが制限されている場合、 クライアントユーザーは、 ユーザー プールの利用可能キャパシティをSharedプールと組み合わせてライセンス要求を満たすことができません。

#### 例

この例では、機能のインストール済みキャパシティは100です。ユーザープールが1つあり、その予約キャパシティは40です。Sharedプールの利用可能キャパシティは60です。クライアントユーザーがキャパシティ60のチェックアウト要求を送信した場合、次に示すような応答が返されます。

プール名	予約キャパシ ティ	インストール 済みキャパシ ティ	要求された キャパシティ	制限なしプー ルに対する応 答	制限付き プールに対す る応答
Pool1	40	100	60	要求は Sharedプール との組み合わ せによって満 たされます。	キャパシティが 不十分なた め拒否されま す。
Shared	60				

ユーザープールを<mark>ブロック<sup>2</sup>すると、ユーザー</mark>プールによるすべてのチェックアウト操作が実行できなくなり ます。ユーザープールに対して [Block] オプションを選択すると、すべてのチェックアウト操作が禁止さ れ、プールの予約 キャパシティは0に設定されます。

<sup>1</sup>ライセンスのチェックアウト要求がユーザープールの予約済みキャパシティを超えた場合に、Shared プールとの組み合わせで要求を満たせないようにすること。 <sup>2</sup>ユーザープールが機能または製品のライセンスをいっさいチェックアウトできないようにすること。

Selected	Selected Feature :9504:1 Available Capacity: 100 Total Capacity: 100					
	Allow/Block	Pool Name	Reserved Capacity			
<b>v</b>	Block	Pool2	35			
<b>V</b>	Allow	Pool3	0			
<b>V</b>	Block	Pool4	15			
1		Shared	50			
		Total	100			

このオプションを使用すると、特定のユーザーグループが特定の機能のライセンスをチェックアウトできないようにし、他の機能や製品には引き続きアクセスできるようにすることができます。作成されたすべてのユーザーグループは [Feature-Based Reservation] および [Product-Based Reservation] タブに表示され、ライセンス予約に使用可能なので、特定のユーザーグループをブロックすることで、ユーザーがユーザープールに対してライセンスを予約するのを防ぐことができます。

**注**: ユーザーに対して [**Block**] オプションを使用した場合、選択したプールだけがブロックされます。ただし、そのユーザーがブロックされていない別のプールに属する場合には、AutoPass License Serverは他のプールの利用可能キャパシティに基づいて要求を満たすことができます。

# タスク

# クライアントユーザーアクセスの管理方法

このタスクでは、AutoPass License Serverへのクライアントユーザーおよびユーザーグループのアクセスを 管理するための手順を説明します。

このタスクには、次のステップが含まれます。

- •「ユーザープールの追加」(95ページ)
- •「ユーザープールの追加」(95ページ)
- 「クライアントユーザーの属性のプールからの削除」(96ページ)
- 「製品ライセンスキャパシティのユーザープールへの予約」(96ページ)
- •「機能ライセンスキャパシティのユーザープールへの予約」(97ページ)
- 「機能ライセンスのチェックアウトのためのユーザープールの優先順位の設定」(97ページ)
- •「ユーザープールのブロック」(97ページ)
- •「ユーザープールの制限」(98ページ)

ユーザープールの追加

- 1. [Pool Management] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、[**Create Pool**] ボタン をク リックします。
- 2. [Create New Pool] ダイアログボックスで、ユーザープールの名前と説明を入力します。
- 3. [Create] をクリックします。

[Pool Management] タブ ([Reservation Management] ペイン) のユーザープールリストにユーザー プールが表示されます。

注:後でユーザープールを削除するには、[Delete] ボタン 🗑 をクリックします。

#### クライアントユーザープールへのユーザーの追加

- 1. [Pool Management] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、クライアントユーザーを追加す るプールのラジオボタンを選択します。選択したプール名が下のペインに表示されます。
- 2. 下のペインで、追加するクライアントユーザー属性を選択します。クライアントユーザーの[User Name]、[IP Address]、[Host ID]、または [Client ID] を入力できます。

**注**: ユーザー詳細には、クライアントユーザーの利用可能なすべての属性を入力することを お勧めします(必須ではありません)。ユーザーグループの詳細にはクライアントユーザーのすべ ての属性が含まれる必要はありませんが、クライアントユーザーがAutoPass License Server にアクセスしようとしたときに、プールの属性リストに指定されていない属性があると、クライア ントユーザーはサーバーにアクセスできません。詳細については、「クライアントユーザー属性」 (89ページ)を参照してください。

3. [Add] 📥 をクリックします。

下のペインの [Associated Users] 領域にユーザーの詳細が表示されます。

#### クライアントユーザーの属性のプールからの削除

- 1. [Pool Management] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、クライアント ユーザーを削除 するプールのラジオボタンを選択します。
- 2. [Remove] ≥をクリックします。

クライアントユーザーの属性がユーザープールから削除します。

**注:** ユーザーの属性をプールから削除すると、ユーザーはAutoPass License Serverにアクセスできなくなります。他のクライアント属性がAutoPass License Serverに記録されている属性と一致する限りは、クライアントユーザーは引き続きサーバーにアクセスできます。

#### 製品ライセンスキャパシティのユーザープールへの予約

1. [Product-Based Reservation] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、予約 する製品 をドロップダウンメニューから選択します。

注:その製品のすべての機能も表示されます。

2. ユーザープールの表で、利用可能なプールにキャパシティを予約します。

注:製品ベースのライセンス予約には、Sharedプールはありません。

3. [Submit] をクリックします。機能の表が予約を反映して更新されます。

#### 機能ライセンスキャパシティのユーザープールへの予約

- 1. [Feature-Based Reservation] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、製品をドロップダウン メニューから選択します。
- 2. 機能の表で、キャパシティを予約する機能のラジオボタンを選択します。下のペインに、機能の 名前と情報、および利用可能なユーザープールが表示されます。
- 3. 下のペインの [Reserved Capacity] 列で、利用可能なプールにキャパシティを予約します。

注:予約されない利用可能キャパシティは、すべて自動的にSharedプールに割り当てられます。

4. [Submit]をクリックします。下と上の両方のペインの表が、予約を反映して更新されます。

#### 機能ライセンスのチェックアウトのためのユーザープールの優先順位の設定

- 1. [Feature-Based Reservation] タブで、ユーザープールの優先順位を設定する製品を選択します。
- 2. ユーザープールの優先順位を設定する機能のラジオボタンを選択します。
- 3. [User Pool Feature Details] 領域で、ユーザープールの行を上下にドラッグして、正しい優先順位に設定します。

#### ユーザープールのブロック

- [Feature-Based Reservation] または [Product-Based Reservation] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、ユーザープールのチェックアウト操作をブロックする製品を選択します。
- 2. [Feature-Based Reservation] タブの場合、機能を選択します。
- 3. 下のペインで、ブロックするユーザープールの[Block]をクリックし、[Submit]をクリックします。

選択したユーザープールのキャパシティがのに変更され、上のペイン ([Feature-Based Reservation] タブと [Product-Based Reservation] タブの両方) で、ユーザープールの名前の隣に (r) が表示されます。

**注:** ユーザープールを有効にするには、[Allow] をクリックします。以前に予約されていたキャパシティが復元されます。

#### ユーザープールの制限

- 1. [Feature-Based Reservation] または [Product-Based Reservation] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、制限する製品を選択します。
- 2. [Feature-Based Reservation] タブの場合、機能を選択します。
- 3. 下のペインの [Restrict] 列で、制限するユーザープールのチェックボックスをオンにします。
- 4. [Submit] をクリックします。

機能または製品の表で、機能または製品の名前の隣に(r)が表示されます。予約キャパシティ は変わりません。

**注:**制限を解除するには、ユーザープールのチェックボックスをオフにして、[Submit]をクリックします。

# リファレンス

# [Pool Management] タブ

このタブでは、ユーザープールを作成し、ユーザープールにユーザーを追加することができます。

F	Pool Ma	anagement	Feature-B	ased Reservat	ion F	Product-Based	Reservation		
M	anage	e Pools							
									?
									1
		Pool Name	Poo	I Description		Pool Create	ed Time	Created By	Delete
	۲	Pool 1				21 Nov 12 17	10:22 IST	admin	8
	$\bigcirc$	Pool 2				26 Nov 12 18	30:12 IST	admin	8
	Pool :	Pool 1						Reservati	on
	Use	er Name IF	P Address	Host Id C	Client Id				
	Add	User			+				
	Ass	ociated Use	ers						
	U	ser 1				×			
	U	ser 2				×			

アクセス方法	[Reservation Management] ペイン>[Pool Management] タブ
重要な情報	クライアントユーザーを追加する前に、ユーザープールを作成する必要 があります。
関連タスク	「クライアントユーザーアクセスの管理方法」(95ページ)

参照情報	<ul> <li>「プールのユーザーリストセクション ([Pool Management] タブ)」(101 ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>「[Pool to Product Mapping] リスト ([Pool Management] タブ)」(102 ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>「AutoPass License Serverのクライアントユーザープール」(90ページ)</li> </ul>
	• 「Autopass License Serverのクライアントユーザー - 概要」(88ページ)

UI要素	説明
-	<b>Create Pool (プールの作成):</b> [Create New Pool] ダイアログボックスを開きます。ここでは、新しいユーザープールの名前と説明を指定します。
Pool name	AutoPass License Server管理者がユーザープールに対して指定するユー ザープール名。
Pool description	プールの作成の際に入力されるプールの説明。特定のユーザープールの目 的を示す説明を入力します。
	注: ユーザープールの説明の入力は必須ではありません。
Pool Created Time	プールが作成された日付と時刻。
Created By	ユーザープールを作成したAutoPass License Server管理ユーザーまたは製品管理者ユーザー。
8	<b>Delete (削除):</b> ユーザープールを削除します。

# プールのユーザーリスト セクション ([Pool Management] タブ)

このセクションでは、ユーザープールにクライアントユーザー属性を追加することができます。

Pool : Pool 1				Reservation	
User Name	IP Address	Host Id	Client Id		
Add User			+		
Associated	Users				
User 1				$\mathbf{\overline{X}}$	
User 2				X	

アクセス方法	[Pool Management] タブ ([Reservation Management] ペイン) で、ユーザープー ルのラジオボタンを選択します。
重要な情報	<ul> <li>このウィンドウに表示されるプールのユーザー詳細は、[Pool Management] タブで選択されたユーザープールによって異なります。</li> </ul>
	<ul> <li>各クライアントユーザーのすべてのユーザー属性の入力は必須ではありません。ただし、各クライアントに対してすべての属性を入力することをお勧めします(属性が利用可能な場合)。</li> </ul>
関連タスク	「クライアントユーザーアクセスの管理方法」
参照情報	・「[Pool Management] タブ」
	・「[Pool to Product Mapping] リスト ([Pool Management] タブ)」
	• 「クライアントユーザー属性」

UI要素	説明
User Name	クライアントユーザーのWindowsまたはUnixユーザー名。
	<b>注: ユーザー</b> 名 は次の構文である必要 があります。 ドメイン/ ユーザー名
IP Address	クライアントユーザーがAutoPass License Serverにアクセスするために 使用するコンピューターのIPアドレス。

UI要素	説明	
Host ID	クライアントユーザーがAutoPass License Serverにアクセスするために 使用するコンピューターのホストアドレス。	
	クライアントユーザーのコンピューターのホストアドレスを知るには、コマ ンドプロンプトウィンドウにipconfig/allと入力します。ホストID は、結果に表示されるDNSサフィックス付きのホスト名です。	
	<b>注:ホストIDは、&lt;ホスト</b> 名>. <dnsサフィックス>という構文である 必要があります。</dnsサフィックス>	
Client ID	各クライアントユーザーに対応する固有の値。	
÷	Add Attribute (属性の追加): 編集フィールドに情報を入力した後 で、ユーザープールに属性を追加します。	
Associated Users/IPAddresses/Host ID/Client ID	ユーザープールに追加されたユーザー、IPアドレス、ホストID、または クライアントIDのリスト。	
×	Remove (削除): クライアントユーザーの属性をユーザープールから削除します。	

## [Pool to Product Mapping] リスト ([Pool Management] タブ)

このページでは、特定のユーザーグループに対して予約された製品と機能に関する情報を表示できます。

Pool Name : Pool 1 Description :	
Product	Feature
1005_1.0_HP-APLS_4.0	9504:1
	9508:1
	9510:1
	9506-1

アクセス方法	[Pool Management] タブ ([Reservation Management] タブ) で、プールのユー ザーリスト セクション (下 のペイン)の [ <b>Reservation</b> ] ボタンをクリックします。
関連タスク	「クライアントユーザーアクセスの管理方法」
参照情報	・「[Pool Management] タブ」
	• 「プールのユーザーリスト セクション ([Pool Management] タブ)」
	•「機能ベースと製品ベースの予約」

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	説明
Pool name/description	現在予約が表示されているユーザープールの名前。
Product	このユーザーグループでライセンスキャパシティが予約されている製品。
Feature	このユーザープールでライセンスキャパシティが予約されている機能。

# [Featured-Based Reservation]/[Product-Based Reservation] タブ

このタブでは、製品機能に対してライセンスキャパシティを割り当てることができます。

次の図は、[Feature-Based Reservation] タブを示します。

Pool Management Feature-wise Reservation			Product-wise Rese	rvation				
Feature	Feature Pool Mapping							
					?			
	HP AutoPass License Server - Test Product 1 Select Product							
	Featur	re Id	Feature Version	Featu	ire Descripti	on	Pool Map;	ping
٩	950	14	1	HP License Serv	er Test - Sta	indard Edition	pool1:20,Po	ol2:30
C	) 950	16	1	HP License Server	r Test - Profe	essional Edition	pool1:10,Po	ol2:20
C	951	0	1	HP License Ser	/er Test - Ulf	imate Edition	pool1:10,Po	ol2:20
C	950	18	1	HP License Serv	er Test - Ent	erprise Edition	pool1:10,Po	ol2:20
Sele	cted Feature Allow/Block	:9504:`	Available Capaci	ty: 0 Total Capaci Reserved	ty: O I Capacity	Available Capacity	Used Capacity	Restrict
	Block		pool1	20		0	0	
<b>V</b>	Block		Pool2	30		0	0	
1			Shared	0		0	0	
			Total	50		0	0	
Hide U	Hide Unreserved Pools							
	Block		pool3			0	0	
Submit								

#### 次の図は、[Product-Based Reservation] タブの例を示します。

Pool Management Feature-wise Reservation Product-wise Reservation					
Feature Product Mapping					
					?
	Sele	ect Product 👻	Select Product		
Feature Id	Feature Version	Feature Description		Pool Mapping	
9504	1	HP License Server Test - Standard E	dition	pool1:20,Pool2:30	
9506	1	HP License Server Test - Professional	Edition	pool1:10,Pool2:20	
9510	1	HP License Server Test - Ultimate E	dition	pool1:10,Pool2:20	
9508	1	HP License Server Test - Enterprise E	dition	pool1:10,Pool2:20	
Select	Allow/Block	Pool Name	Rese	erved Capacity	Restrict
	Block	pool1			
	Block	Pool2			
	Block	pool3			
Submit					

アクセス方法	[Reservation Management] ペインで、[Feature-Based Reservation] または [Product-Based Reservation] タブを選 択します。
重要な情報	先に製品に対するキャパシティを予約してから、その機能に対するキャパシ ティを予約する必要があります。
関連タスク	「クライアントユーザーアクセスの管理方法」(95ページ)
参照情報	•「機能ベースと製品ベースの予約」(92ページ)
	• 「ユーザープールの制限またはブロック」(93ページ)
	• 「ライセンス予 約 の優 先 度」(92ページ)
	• 「ユーザープールごとのライセンス使用」(90ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

#### 機能/製品リスト表

UI要素	, 説明 
Feature ID	機能の固有の識別子。
Feature Version	機能のバージョン番号。
Feature Description	機能の説明のテキスト。
Pool Mapping	ユーザープールと、そのユーザープールにマップされたキャパシティのリスト。 たとえば、機能Aに対するプールのマッピングは、Pool1:20、Pool2:15のよう に表示されています。
	プールが制限またはブロックされている場合、プール名の隣に(r)が表示されます。

#### ユーザープールの機能/製品予約詳細領域

UI要素	説明 11月1日 - 11月1日 - 11		
<機能詳細>	特定の機能の詳細。詳細には次の情報が含まれます。		
	• Selected Feature: 機能の名前		
	• Available Capacity: 現在チェックアウトに利用可能なキャパシティ		
	• Total Capacity: インストール済 みキャパシティの合計		
	<b>注:</b> ユーザープールの予約キャパシティは、利用可能キャパシティ や合計キャパシティを超えることができます。ただし、利用可能 キャパシティを超えるチェックアウト要求は拒否されます。		
Block/ Allow	特定の機能に対するユーザープールからのチェックアウト要求を有効ま たは無効にします。		
Reserved Capacity	このプールのメンバーに対して予約されたライセンスキャパシティ。予約 キャパシティより小さいチェックアウト要求は、すべて自動的に満たされ ます。		
	チェックアウト要求が予約キャパシティを超えた場合、クライアントユー ザーは、このプールの利用可能キャパシティとSharedプールを組み合わ せて、チェックアウト要求を完了することができます。		
Available Capacity	チェックアウト要求で現在利用可能なキャパシティ。		
Used Capacity	現在チェックアウトされているキャパシティ。		
Restrict	このチェックボックスが選択されている場合、選択したユーザープールに 属するクライアントユーザーは、機能の利用可能キャパシティを超えな いチェックアウト要求だけを満たすことができます。		
Hide/Show Unreserved Pools	選択した機能に対して予約されていないユーザープールの表示と非 表示を切り替えます。		

# クライアントユーザーの管理 - よくある質問

ここでは、AutoPass License Serverのクライアントユーザーとユーザープールの管理に関するよくある質問と回答を紹介します。

#### ユーザープールに割り当てられていないクライアントユーザーは、製品または機能のラ イセンスにアクセスできますか。

いいえ。クライアントユーザーは、ユーザープールの作成後にユーザーグループの一部として追加されま す。ユーザーをユーザープールに割り当てずに独立に追加する方法はありません。

#### クライアントユーザーを追加する際には、クライアントユーザーの4つの属性をすべて入 力する必要がありますか。

いいえ。ただし、すべて入力することをお勧めします。後でユーザーがAutoPass License Serverからライセンスをチェックアウトしようとしたときに、そのユーザーのUser name、IP address、Host ID、Client IDのいずれかの属性が、ユーザープールに関連付けられた属性と一致しない場合、チェックアウト要求は拒否されます。

#### ユーザーが属するユーザープールに、十分な利用可能キャパシティがない場合でも、 ユーザーのライセンス要求を満たすことはできますか。

はい。利用可能キャパシティが十分にない場合、クライアントユーザーは、ユーザープールの利用可能キャパシティと、Sharedプールの利用可能キャパシティを組み合わせて、要求を満たすことができます。

#### 複数の機能または製品に対してライセンスキャパシティを一度に予約することはでき ますか。

いいえ。キャパシティの予約は、一度に1つの機能または製品に対してのみ行うことができます。ただし、1つの機能または製品のライセンスを複数のユーザーグループに対して同時に予約することは可能です。

#### クライアントユーザーが複数のユーザープールに属する場合、AutoPass License Serverはライセンス要求を満たすためのプールをどのように選択するのですか。

AutoPass License Serverは、機能または製品に対するユーザープールの優先順位に基づいて、ライセンスをチェックアウトするユーザープールを選択します。

#### 機能に対してキャパシティが予約されているプールが複数存在し、優先度が低い プールが先にチェックアウト要求を実行した場合、要求は満たされますか。

はい。ライセンスのチェックアウト要求は、先着順で満たされます。

#### クライアントユーザーによるライセンスのチェックアウトを制限したい場合、どうすればよ いですか。

チェックアウトを制限するには2つの方法があります。

- ユーザープールを制限した場合、チェックアウト要求は、プールの予約キャパシティまでに制限されます。詳細については、「ユーザープールの制限」(98ページ)を参照してください。
- ユーザープールをブロックした場合、すべてのチェックアウト要求が拒否されます。詳細については、 「ユーザープールのブロック」(97ページ)を参照してください。

#### ブロックされたプールに属するユーザーがライセンスをチェックインすることはできますか。

はい。

#### どのプールからライセンスをチェックアウトできるかを知るにはどうすればよいですか。

[License Usage] ペインで、ライセンスをチェックアウトした機能 IDを選択します。 [Pool] フィールドに、ライセンスが属するプール名が表示されます。
### クライアントユーザーの管理 - トラブルシューティング と制限事項

ここでは、AutoPass License Serverのクライアントユーザーとユーザープールの管理で生じる問題のト ラブルシューティングに役立つ、よくある質問と回答を紹介します。

#### クライアントユーザーがライセンスをチェックアウトできないのはなぜですか。

クライアントユーザーがライセンスをチェックアウトできない場合、次のいずれかの理由が考えられます。

- クライアントが属するユーザープールがブロックされている。詳細については、「ユーザープールの制限またはブロック」(93ページ)を参照してください。
- クライアントユーザーが属するユーザープールが制限されており、要求されたキャパシティがそのプー ルで利用可能でない。
- 要求されたキャパシティがその機能に対して利用可能でない。

# 第10章: リモートコミューターライセンスの管理

本章の内容

#### 概念

- •「コミューターライセンス-概要」(111ページ)
- 「コミューターライセンスのチェックインとチェックアウト」(111ページ)
- •「コミューターライセンスの回復」(112ページ)

#### タスク

• 「リモートコミューターライセンス操作の実行方法」(113ページ)

#### リファレンス

• 「[Check In]/[Check Out] タブ ([Remote Commuter] ペイン)」(115ページ)

「リモートコミューターライセンスの管理 - よくある質問」(117ページ)

「リモートコミューターライセンスの管理 -トラブルシューティングと制限事項」(118ページ)

### 概念

### コミューターライセンス - 概要

場合によっては、ライセンスされた製品を使用する際に、クライアントユーザーがライセンスのチェックア ウトのためにAutoPass License Serverに接続できないことがあります。通常は、AutoPass License Serverに接続できないと、ユーザーはライセンスをチェックアウトできないので、製品を使用できませ ん。ただし、その場合でも、コミューターライセンス<sup>1</sup>を使用すれば、AutoPass License Serverに接続 せずに製品を使用することができます。たとえば、出張中でAutoPass License Serverへのアクセスが 困難あるいは不可能な場合に、コミューターライセンスが役立ちます。

コミューターライセンスは、Autopass License Serverからチェックアウトされた後で、クライアントユーザー のコンピューターに (AutoPass License Serverへのアクティブな接続がない状態で) インストールされま す。コミューターライセンスがあれば、AutoPass License Serverへの接続が存在しなくても、製品を開 いて実行することができます。 クライアントユーザーがライセンスを使用し終わったら、ユーザーはライセ ンスをAutoPass License Serverにチェックインします。

**注:** ユーザーがAutoPass License Serverに接続する必要があるのは、ライセンスのチェックインとチェックアウトの際だけです。

製品または機能のキャパシティからコミューターライセンスがチェックアウトされると、ライセンスがチェック インされるか有効期限が切れるまで、キャパシティはチェックアウトされた状態になります。

ライブコンカレントライセンスと異なり、コミューターライセンスは取り消すことができません。

コミューターライセンスを使用可能にするかどうかは、製品または機能ごとに設定できます。そのためには、製品自体でライセンスキーを通じて設定するか、特定の機能の機能レポートでコミューターライセンス使用の設定を行います。ライセンスキーファイルでのコミューターライセンスの設定方法については、各製品のドキュメントを参照してください。

### コミューターライセンスのチェックインとチェックアウト

コミューターライセンスを取得するには、管理者またはクライアントユーザーがコミューターライセンスを チェックアウトする必要があります。コミューターライセンスをチェックアウトするには、次の2つの方法があ ります。

- 直接: クライアントユーザーがAutoPass License Serverに直接接続して、ライセンスをチェックアウトします。このタイプのチェックアウトの実行方法については、各製品のドキュメントを参照してください。
- リモート: AutoPass License Serverユーザーがライセンスをチェックアウトし、クライアントユーザーに送信します。

すべての製品と機能に対するコミューターライセンスをチェックアウトできるのは、管理者権限を持つ ユーザーだけです。製品管理者ユーザーは、[User Groups] タブ ([User Management] ペイン) で関連 付けられた製品のライセンスをチェックアウトできます。

<sup>1</sup>License Serverとのアクティブな接続がない状態で、ユーザーが製品を使用できるようにするライセンス。

リモートコミューターライセンスをチェックアウトする前に、各クライアントユーザーは、クライアントシステム に1つのファイルを生成する必要があります。このファイルには、クライアントのプログラムのライセンス要 件と、クライアントコンピューターの詳細が記録されます。この入力ファイルの生成方法については、各 製品のドキュメントを参照してください。

リモートコミューターライセンスをチェックインする場合も、ユーザーはクライアントコンピューターに1つの ファイルを生成する必要があります。この出力ファイルには、ライセンスの詳細と、クライアントコンピュー ターの情報が記録されます。これは、ライセンスをチェックインする際に、AutoPass License Serverがコ ミューターライセンスを認識するために使用します。

リモートコミューターライセンスのチェックインは、すべてのAutoPass License Serverユーザーが実行できます。

### コミューターライセンスの回復

場合によっては、クライアントユーザーがコミューターライセンスを使用する前に、ライセンスが失われる ことがあります。これは次のような場合に起こります。

- ライセンスキーを電子メールで送信する際に、メールサーバーがダウンした。
- ダウンロードしたライセンスキーが破損していた。
- AutoPass License Serverユーザーが、ライセンスをチェックアウトした後、ライセンスキーをダウンロードする前に、AutoPass License Serverの別のページに移動した。

[Feature Report] ページを使用すると、ライセンスファイルをもう一度ダウンロードして、クライアントユーザーのプログラムで使用することができます。

# タスク

### リモートコミューターライセンス操作の実行方法

このタスクでは、コミューターライセンス操作の管理に必要なプロセスを説明します。 このタスクには、次のステップが含まれます。

- 「コミューターライセンスの有効化」(113ページ)
- 「コミューターライセンス設定の変更」(113ページ)
- 「コミューターライセンスのチェックアウト」(114ページ)
- 「コミューターライセンスのチェックイン」(114ページ)
- 「コミューターライセンスの回復」(114ページ)

#### コミューターライセンスの有効化

1. [License Usage] ペインで、コミューターライセンスを有効にする機能を選択します。

**注:** コミューターライセンスを有効にすることができる機能は、機能IDの隣のチェックボックスが オフで、変更可能になっています。

2. [Manage Commuter] をクリックします。

コミューターライセンスを有効にするかどうかを確認するメッセージが表示され、機能のチェックボックスがオンになります。

#### コミューターライセンス設定の変更

- 1. [License Usage] ペインで、[Feature ID: Version] リンクをクリックして、コミューターライセンス設定を変更する機能を選択します。機能の[Feature Report] ページが開きます。
- 2. [Feature Report] ページの [Commuter Checkout Settings] セクションで、[Edit] をクリックします。
- 3. コミューターライセンスのチェックアウトの最大日数を [Maximum number of days allowed] に、 チェックアウトできる最大キャパシティを [Maximum capacity allowed] に入力します。
- 4. [Save] をクリックします。

[Feature Report] ページに、コミューターライセンス設定の変更された値が表示されます。

**注**: [Maximum capacity allowed] に値を入力しない場合、利用可能なすべてのキャパシティがチェックアウトの最大キャパシティに設定されます。

#### コミューターライセンスのチェックアウト

- 1. [Check Out] タブ ([Remote Commuter] ペイン) で、[**Browse**] ボタンをクリックして、クライアントコ ンピューターに生成されたコミューターライセンスのチェックアウト用のファイルを選択します。
- 2. [Check Out] をクリックします。
- 3. [Check Out] ページで、チェックアウトする機能を選択して、[Download Link] をクリックします。

ライセンスキーファイルがダウンロードされ、クライアントユーザーから使用可能になります。

**注:** 特定のコミューターチェックアウトから一部の機能を除外する場合は、除外する機能を [Check Out] ページで選択して、[**Discard**] をクリックします。

クライアントコンピューターにライセンスをインストールする方法については、各製品のドキュメントを参照してください。

#### コミューターライセンスのチェックイン

- [Check In] タブ ([Remote Commuter] ペイン) で、[Browse] ボタンをクリックして、クライアントコン ピューターに生成されたコミューターライセンス用のファイルを選択します(「コミューターライセンスの チェックインとチェックアウト」(111ページ)を参照)。
- 2. [Check In] をクリックします。

ライセンスがAutoPass License Serverにチェックインされ、[License Usage] ペインに表示される利用可能なキャパシティにキャパシティが追加されます。

#### コミューターライセンスの回復

- 1. [License Usage] ペインで、コミューターライセンスを回復する機能を選択して、[Feature ID: Version] リンクをクリックします。そのページの機能レポートが開きます。
- 2. [Feature Report] ページで、ライセンス詳細表の[Remote/Commuter] リンクをクリックします。

**注:** コミューターライセンスをダウンロードできるのは、ライセンスがチェックインされていない場合のみです。

3. ファイルを適当な場所に保存します。

**注:** コミューターライセンスを再ダウンロードしても、チェックアウトされたコミューターライセンス キャパシティの表示は変わりません。

# リファレンス

### [Check In]/[Check Out] タブ ([Remote Commuter] ペ イン)

これらのタブでは、機能を選択してコミューターライセンスをチェックアウトまたはチェックインすることができます。

下の図は、[Check Out] ペインの例です。

Check Out	Check In			
Check Out				
			?	
			<u> </u>	
Please Browse file				
		Browse		
Check Out				
CHECK Out				

アクセス方法	[Remote Commuter] ペイン>[Check Out]/[Check In] タブ
重要な情報	機能のコミューターライセンスをチェックアウトするには、機能でコミューターライセンスが有効にされている必要があります。有効にされているかどうかは、 [License Usage] ペインまたは [Feature Report] ページに示されます。詳細については、「[License Usage] ペイン」および「[Feature Report] ページ ([License Usage] ペイン)」を参照してください。
関連タスク	「リモートコミューターライセンス操作の実行方法」(113ページ)
参照情報	•「コミューターライセンス - 概要」(111ページ)
	<ul> <li>「コミューターライセンスのチェックインとチェックアウト」(111ページ)</li> </ul>
	• 「コミューターライセンスの回復」(112ページ)

ユーザーインターフェイス要素について次に示します。

UI要素	
<ファイルパス>	コミューターライセンスのチェックアウト/チェックインのためにクライアントユーザーの システムに生 成される出 カファイルのパス。
Browse	コミューターライセンスのチェックアウト/チェックイン用の出力ファイルを見つけるためのダイアログボックスを開きます。
Check Out Check In	[Check Out/Check In] ページを開きます。 このページでは、機能を選択してコ ミューターライセンスをチェックインまたはチェックアウトします。

# リモートコミューターライセンスの管理 - よくある質問

#### 製 品 または機 能 でコミューターライセンスのチェックアウト が有 効 になっているかどうか は、どうすればわかりますか。

[License Usage] ペインで、製品または機能のコミューターライセンスのチェックアウトが有効になっていることは、次のように示されます。

- ・機能IDの隣のチェックボックスがオンで、変更不可。
- ・機能IDの隣のチェックボックスがオンで、変更可能。

機能でコミューターチェックアウトが使用可能で、コミューターチェックアウトがまだ有効にされていない 場合は、チェックボックスはオフで、変更可能です。 機能のチェックボックスをオンにして、 [Manage Commuter] をクリックすると、コミューターライセンスのチェックアウトを有効にすることができます。

#### コミューターライセンスをチェックアウトできるのは誰ですか。

コミューターライセンスをチェックアウトできるのは、管理者または製品管理者アクセス権限を持つユー ザーだけです。 製品管理者は、ユーザーグループで対応付けられた製品のコミューターライセンスだけ をチェックアウトできます。

#### コミューターライセンスをチェックインできるのは誰ですか。

コミューターライセンスのチェックインは、すべてのAutoPass License Serverユーザーが実行できます。

#### コミューターライセンスをダウンロードするオプションがあるのはなぜですか。

このオプションは、失われたコミューターライセンスを回復するために使用します。AutoPass License Serverユーザーは、ライセンスをクリーンアップしてから再びチェックアウトする代わりに、機能の[Feature Report] ページからライセンスを再ダウンロードすることができます。

## リモートコミューターライセンスの管理 - トラブルシュー ティングと制限事項

コミューターライセンスをチェックアウトする際に、「Product is not configured with this AutoPass License Server」というエラーメッセージが表示されます。これはなぜでしょうか。

このエラーメッセージは、製品がAutoPass License Serverで設定されていないことを示します。 ライブ またはコミューターライセンスをチェックアウトして製品を設定してから、 リモートコミューターライセンスを チェックアウトしてください。



